

5 平成29年度 事業実績

このページは空白です

平成29年度 出雲保健所の重点的な取組

〈基本理念〉

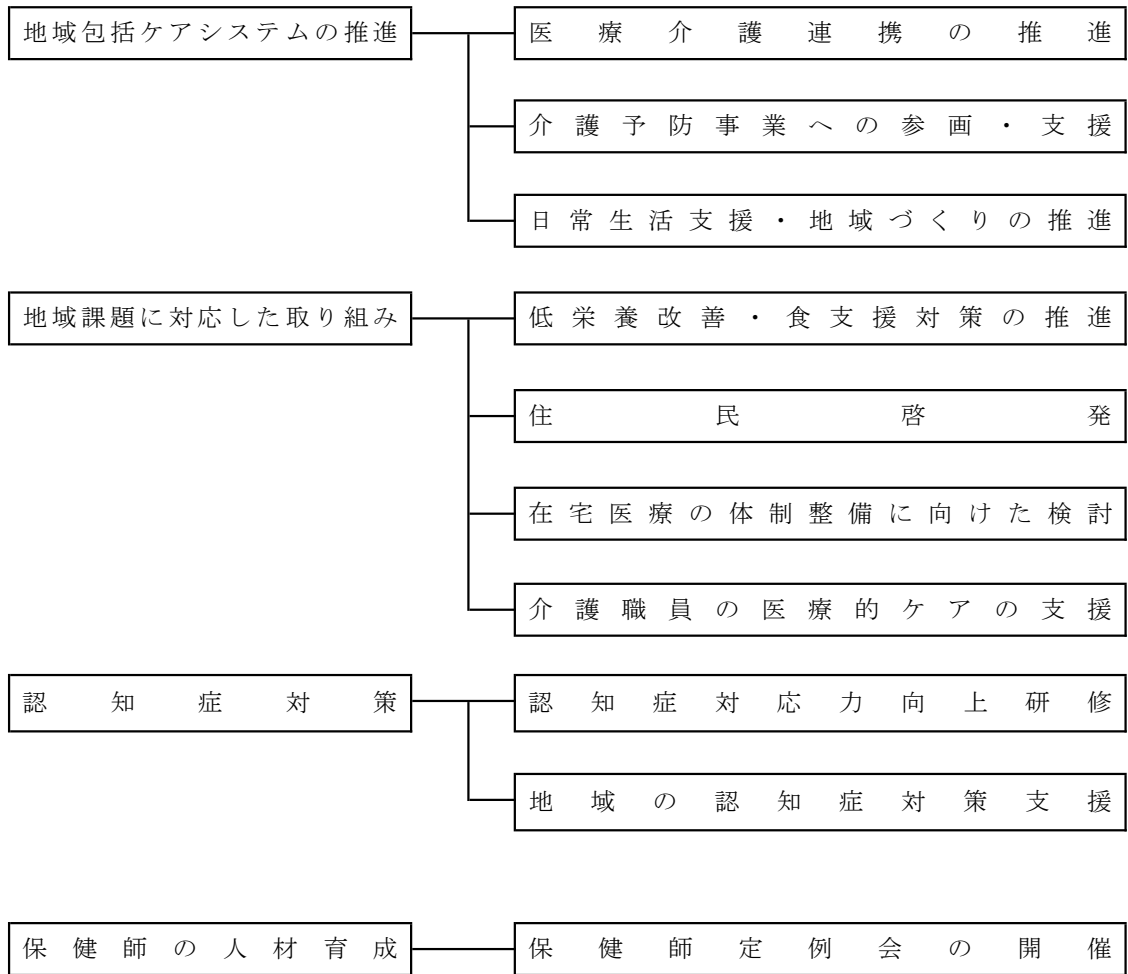
〈重点目標〉

〈具体的な取組〉

生涯にわたって健やかで快適に暮らせる地域と環境づくり

健康で安心して暮らせる地域づくり	地域医療構想における課題・介護保険事業計画を踏まえた「圏域保健医療計画」の策定
	関係機関の連携による在宅医療、災害保健医療の推進
	地域包括ケアシステムの構築を目指した医療・介護連携の推進
	行政・住民・企業・関係団体等が協力した「健康長寿しまね」の推進及び第2次計画の中間評価を踏まえた進行管理
	がん対策、脳卒中・糖尿病など生活習慣病予防対策の推進及び地域・職域における連携の強化
	認知症の予防と理解の促進
	市、関係団体と連携した食育・食環境づくり等による食生活改善対策の推進
	「80歳20本の歯推進事業」による歯科保健対策の推進
	医薬分業の推進
	食品の安全・安心確保対策の推進及び食品表示の適正指導
	結核、肝炎等感染症対策の推進
	新型インフルエンザ等健康危機管理体制の充実・強化
生活衛生関係営業施設への衛生管理の取組み	
安心して子供を産み育てられる地域づくり	「健やか親子しまね」の推進及び計画策定
	長期に療養を必要とする児への支援対策
	周産期医療におけるネットワークづくり
障がいがあっても住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり	心の健康づくりを進めるための関係機関とのネットワークの充実強化、啓発活動の推進
	精神障がい者の自立と社会参加の促進
	ボランティアの育成や保健・医療・福祉の連携による入院患者等の地域移行と地域生活定着の推進
	自死予防対策の推進
快適に暮らせる地域づくり	難病患者及び家族の療養支援の推進
	アスベスト飛散防止等による大気環境の保全
	廃棄物の減量化・再利用・再資源化等の取組みによる「循環型社会」の推進
	産業廃棄物の排出事業者・処理業者に対する監視指導の強化
	大気汚染物質排出施設の監視指導による大気環境の保全
	浄化槽放流水、事業場排水の監視指導による水環境の保全
動物の愛護及び管理の普及啓発	

地域包括ケア推進スタッフ



地域包括ケア推進スタッフ

関係機関・関係職種との連携のもと、地域包括ケアシステムの構築に資する取り組みを以下のとおりすすめてきた。

1 市における在宅医療介護連携推進事業の円滑な実施に向けた支援

(1) 市における在宅医療介護連携推進事業への支援

(ア) 出雲市医療介護連携推進連絡会議

<第1回>平成29年7月26日(水)19:00~21:00 くにびき大ホール

在宅医療と介護の連携のための指針策定

平成29年度在宅医療介護連携推進の取り組みについて 等

<第2回>平成30年1月31日(水)19:00~21:00 くにびき大ホール

平成29年度の活動状況報告

在宅医療の現状と課題 等

(イ) 医療介護連携推進のための事例検討会、研修会及び意見交換会への参画

○事例検討会：3回

出雲リハケアネット・出雲市立総合医療センター・介護支援専門員協会が企画運営。

○研修会及び意見交換会：

平成30年3月19日(月)19:00~21:00 くにびき大ホール

テーマ「在宅療養を支える多機関多職種の取り組みを知り、連携の方策を探る」

グループワーク：連携をスムーズにするための具体的取組の共有・検討

(2) 介護予防関係事業への参画・支援

(ア) 地域リハビリテーション活動支援事業への参加

市が出雲リハケアネットに委託し、実施運営に関し出雲リハケアネットを中心に協議。

(イ) 出雲リハケアネット定例会への参加

(ウ) 地域ケア個別会議への参画

H29.10~国モデル事業「介護予防活動普及展開事業」に出雲市が参加。

毎月第3火曜日開催。オブザーバーとして出席。

(エ) 介護保険運営協議会への出席

介護保険運営協議会(年3回)

地域支援部会に委員として出席(年2回)

(3) 日常生活支援・地域づくりの推進

(ア) 生活支援体制整備協議体定例会に参加 月1回

(イ) 生活支援体制整備協議体に委員として参加 年2回

2 地域の課題に応じた新たな取り組みの推進

- (1) 出雲圏域低栄養改善・食支援対策（詳細は医事難病支援課にて記載）
 - (ア) 検討会の開催（2回）
 - (イ) 研修会の開催（1回）

3 住民啓発

平成 29 年度から圏域全体への啓発を実施。（小さな地区単位には市が座談会を実施）

(1) 地域包括ケアフォーラム

～年をとり誰かの助けが必要になった時、あなたは どうしますか？～

日時：H30. 3. 10（土）13:30～16:00

場所：ビッグハート出雲 白のホール

内容：講演：「地域包括ケアは地域の困りごとに対応するしくみです」

講師 松江保健所 所長 村下伯氏

シンポジウム：「病院のそれぞれの役割を知ろう」

出雲圏域病病連携会議 土谷治久氏

「在宅で療養したい時どうしたらいいの？」

出雲高齢者あんしんセンター 竹内郁子氏

島根県立中央病院 萬代由喜子氏

小規模ホームもくれん 諸井 望氏

須谷医院 須谷生男氏

訪問看護ステーションチューリップ 郷原瑞恵氏

ひえばらお助けマン互助会 石野あいこ氏

参加者 250 名。参加者のうち約半数が一般住民参加であった。

4 在宅医療の体制整備に向けた検討

平田地域の在宅医療介護の資源の確保について、課題と今後の具体的な取り組みについて協議を開始した。

<参加団体> 出雲市立総合医療センター、出雲市、保健所

<回数> 4回

5 介護職等による喀痰吸引の実施に関する取り組み

- (1) H29. 6 月 「介護職員等による喀痰吸引の実施に関する調査」の実施
- (2) H29. 11 月 「特別養護老人ホームにおける喀痰吸引の再講習に関する状況調査」の実施。

これらの調査結果を踏まえ、県庁及び特養懇話会との連携により再講習の有効かつ円滑な実施に向けて検討をすすめていく。

6 認知症対策

- (1) かかりつけ医の認知症対応力向上に向けた取り組みへの参加
- (ア) 認知症サポート医連絡会への出席 年 4 回
 - (イ) 認知症懇話会研修会への参加 年 4 回
- (2) 薬剤師等の認知症対応力向上研修
- H29. 9. 12 薬剤師会との合同研修会 参加人数 80 名
 - 講話:「サポート医とは」深田医院 深田倍行氏
 - 事例報告:2名の薬剤師から支援の実際を紹介。
- (3) 歯科医師等対応力向上研修会催
- H29. 11. 22 参加人数 33 名
 - 講話:「認知症サポート医の役割・連携のポイント」深田医院 深田倍行氏
 - H29. 5 月、歯科医院の患者における認知症の人(または疑いの人)の状況に関する調査」の実施。その結果および歯科医院での日ごろの困りごとをふまえた内容とした。
- (4) 出雲市への支援
- (ア) 出雲市認知症高齢者支援強化検討会及び出雲市認知症初期集中支援チーム検討委員会への参加 年 2 回 (H29. 7. 27、H30. 1. 25)
 - (イ) 認知症カフェへの参加
 - 毎月第 1. 3 金曜日午後 (13:30～) ラピタ 2 階

7 保健師の人材育成

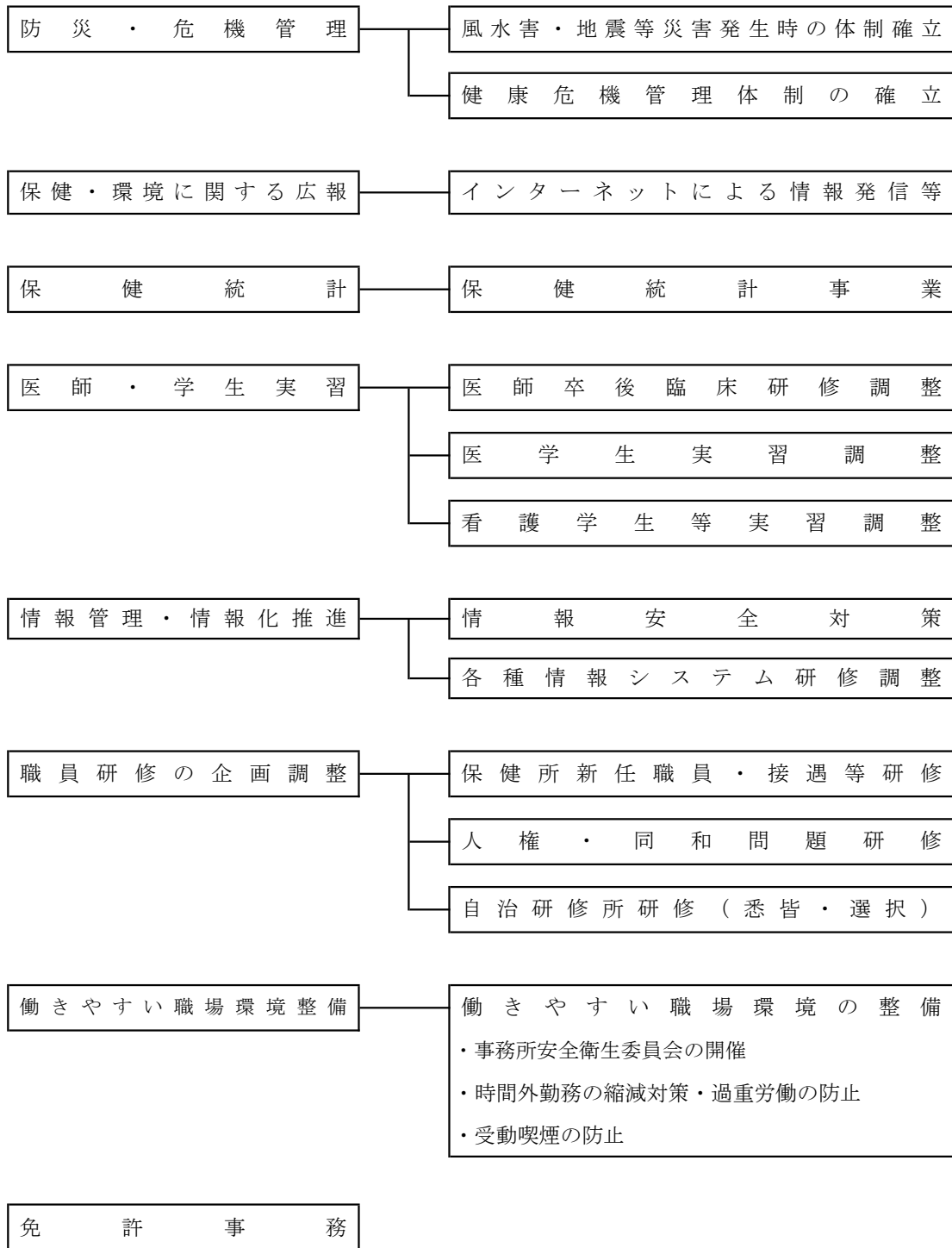
- (1) 保健師定例会の実施
- 毎月第 2 月曜日 9:00～1 時間半程度
 - 各課業務に関する情報交換や事例検討等を通じ、保健師間の連携強化及び資質向上を図ることができた。

月	内容	詳細
4 月	・保健師定例会での取り組みの計画について	目的や内容の共有
5 月	・情報交換 ・これからの定例会の進め方	提案・確認
6 月	・事例の検討(母子) ・伝達研修(在宅医療フォーラム)	・他課の業務・制度等を知る機会にもなっている。 ・研修等の復命を聞き、学びを共有。
7 月	県保健環境発表会への参加	
9 月	・情報交換(近況) ・島根の保健師活動を伝える・考える	個別支援をとおして感じる保健師活動～活動の現状を、悩みや課題を含め話してみる～

10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討「医療機関受診に拒否的なケースへの支援の継続」 ・トピックス（情報の共有） 	各課、個別支援が多い。個別支援から地域を見る力、ネットワークの広がりも出てくる大事な部分。個別支援の中で保健所に期待される（果たすべき）役割を、この定例会で情報交換
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換（近況） ・災害時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者台帳を「医療的ケア児」も作成する必要がある。 ・災害時公衆衛生活動マニュアル・防災業務必携を確認のこと。
12 月	情報交換	<ul style="list-style-type: none"> ・近況報告と情報交換 ・情報提供（記録の ICT 化・人材育成計画）
H30 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・新任期の事例検討 	事例提出者：石川・宮本 <ul style="list-style-type: none"> ・保健所の役割を認識・関係者とのネットワークの広がりなど、個別支援を通じ成果も見えた。
2 月	地域保健関係職員等研修に兼ねる	新任期保健師の活動成果発表
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・1 年間を振り返り、次年度向けの目標をたてる ・自分の獲得すべき能力の再確認 	

- (2) 市統括保健師との連絡会 1 回
 その他、研修企画等協議を兼ねて実施。

総務課業務



総務課

1 災害等危機管理

震災・風水害・雪害等の災害動員体制を定め災害発生に備えるとともに、出雲圏域における関連会議に出席し、圏域内の危機管理体制の確認するほか、消防訓練を行った。

- (1) 出雲地区防災委員会 平成29年 9月 7日 出雲合同庁舎
- (2) 消防訓練 平成30年 1月24日 出雲保健所

2 保健・環境に関する広報

一般県民に出雲保健所の業務を広く理解してもらうため、保健・環境に関する情報をホームページで提供した（情報は随時更新）。

また、平成28年度事業実績と平成29年度の事業計画をまとめた「平成29年度すこやかライフ」を発行した。

3 保健統計・調査

(1) 定期報告

- ア 衛生行政報告例（衛生関係）
- イ 地域保健・健康増進事業報告（保健所分）
- ウ 人口動態調査
- エ 病院報告

※ア、イ：年度報、ウ、エ：月報

4 医師卒後臨床研修

医師卒後臨床研修（初期2年）のうち「地域保健」について、研修協力施設として、研修実施病院から研修医を受入れ、プログラム作成～指導～評価を行った。

保健所業務全般を学ぶとともに、各研修医が設定した課題項目について重点的に学べるように市、地域の医療機関、要支援当事者、保健福祉施設・団体等の協力を得ながら、可能な限り地域に出掛ける実習とした。

◇平成29年度における受入状況は以下のとおり

研修病院名	人数	受入期間
島根大学医学部附属病院	1	11月(1ヶ月)
島根県立中央病院	1	11月(1ヶ月)
計	2	

※H23年度から保健所研修が選択制となる

5 医学生実習

島根大学医学部環境保健医学講座の学生実習を受け入れた。

平成30年2月～4月（3日間） 5名

テーマ「難病患者の在宅療養支援」

6 看護学生等実習

学生や関係機関職員に保健所業務を理解してもらうとともに、活動評価の一助とした。

◇平成29年度における受入状況は以下のとおり

実習	養成資格	学校(施設)、学年等	人数	実施期間
地域看護学実習	保健師、看護師	島根大学医学部看護学科4年	4名	6/12～6/16
			5名	7/3～7/7
公衆衛生看護学実習	保健師	島根県立大学短期大学部専攻科 公衆衛生看護学専攻	4名	10/23～10/27
公衆栄養学実習	管理栄養士	岡山県内養成施設1校	3名	9/6～9/12
		兵庫県内養成施設1校	2名	

〈地域看護学・公衆衛生看護学実習〉

- ・5日間の実習を保健所で受入れ
- ・島根大学については医事・難病支援課、島根県立大学については健康増進課がプログラムの作成、指導総括を担当
- ・個々の学生が学びたい事項を重点的に学べるようプログラムを作成
- ・市指導担当者と連携、補足しあうことでより効果的な内容となるよう工夫

〈公衆栄養学実習〉

- ・健康増進課がプログラム作成、指導総括を担当
- ・関係機関と連携し、事業等に参加することにより保健所の役割を学べるようプログラムを作成

7 研修事業の企画調整

保健所職員としての必要な知識を習得するため各種研修を実施した。

- (1) 保健所新任職員研修 平成29年 4月25日 出雲保健所
- (2) 人権・同和問題職場研修 平成29年11月27、28日 出雲保健所

8 働きやすい職場環境整備の推進

事務所安全衛生委員会を開催し審議検討を行ったほか、時間外勤務の縮減に向けた取組み、職場の厚生計画の実施、受動喫煙の防止等をとおして、職員の健康管理を図った。

- (1) 事務所安全衛生委員会 平成29年 8月29日 出雲保健所
平成30年 2月19日 出雲保健所
- (2) 時間外勤務時間の縮減に向けた取組み
- (3) 職場安全衛生点検 平成29年10月26日 出雲保健所
- (4) 職場の厚生計画 平成29年度中に4回実施 延べ16人参加
- (5) 職場の受動喫煙防止 平成29年4月24日から建物内禁煙
- (6) 出雲地区安全運転・管理講習会 平成29年11月20日 出雲合同庁舎
平成29年11月21日 出雲合同庁舎

9 免許事務

医師等の医療従事者（薬剤師を除く）に係る免許事務を行った。

免許種別	新規	籍訂正等	合計
医師	59	12	71
歯科医師	3	0	3
保健師	38	28	66
助産師	9	9	18
看護師	142	87	229
診療放射線技師	2	2	4
臨床検査技師	5	5	10
理学療法士	19	7	26
作業療法士	6	7	13
視能訓練士	2	0	2
歯科技工士	0	0	0
准看護師	12	8	20
計	297	165	462

※歯科技工士に係る申請は、H27.6.1より(財)歯科医療振興財団へ事務移管

心の健康支援課業務



心の健康支援課

1 精神保健福祉対策の充実に向けた関係機関の連携

(1) 保健医療計画の進行管理

地域における精神保健・医療・福祉に係る諸課題を総合的に検討し、平成24年度に策定した「保健医療計画」（出雲圏域編）の進行管理を行い、次期計画【H30～H35年度】を策定した。

(2) 出雲地域精神保健福祉協議会

地域住民の精神保健福祉に関する知識の啓発に努め、精神的健康の保持増進を図るとともに、精神障がい者の保健と福祉の向上及び円滑な社会復帰に努めることを目的とし、「出雲地域精神保健福祉協議会」が設置されており、連携して各施策の推進を図っている。なお、より専門的な課題に取り組むにあたり「医療の連携と在宅支援に関する部会」「自死予防に関する部会」及び「出雲圏域子どもの心の診療ネットワーク事業」が設置されている。

なお、「医療の連携と在宅支援に関する部会」は、精神障がい者地域生活移行・地域定着支援圏域会議を兼ねて開催した。

ア 出雲地域精神保健福祉協議会の開催（2回）

日 時	内 容
第1回 平成29年6月29日	1. 報告事項 1) 事業実績および平成29年度事業計画について 2) 島根県保健医療計画（出雲圏域）の改定について 3) 精神保健及び精神障害福祉に関する法律の一部改正について 2. 協議事項 1) 一般診療科医と精神科医との連携に関する研修について 2) 認知症対策について
第2回 平成30年3月8日	1. 報告事項 1) 事業報告と平成30年度の方向性について ①医療の連携と在宅支援部会について ②自死予防の部会について ③子どもの心の診療ネットワーク事業について ④認知症対策について 2. 協議事項 1) 措置患者等の退院の支援について 3. その他 1) 第50回島根県精神保健福祉大会について

イ 医療の連携と在宅支援に関する部会の開催（2回）

（出雲地域精神障がい者地域移行・地域定着圏域会議に兼ねて開催）

日 時	内 容
-----	-----

<p>第1回 平成29年7月14日(金) 13:30～16:00</p>	<p>【報告】 平成28年度実績報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業について <ol style="list-style-type: none"> ①精神障がい者地域生活移行・地域定着支援圏域会議 ②精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業研修会 ③自立支援ボランティア・ピアサポーター活用事業 ④精神保健福祉ボランティア養成講座 ⑤地域関係施設と医療機関関係職員との交流実習 ⑥出雲圏域精神保健包括支援会議 2. 精神障がい者社会適応訓練事業について 3. 認知症対策について <p>【平成29年度計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業 2. 認知症対策 3. 精神障がい者社会適応訓練事業について <p>【協議事項】 措置入院患者の退院支援について</p> <p>【情報提供】 出雲市精神障がい者退院支援事業（出雲市生活保護事業）について ※出雲市より説明</p> <p>【その他】 ・認知症患者と精神障がい者への対応について</p>
<p>第2回 平成30年2月16日(金) 13:30～16:00</p>	<p>【報告】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業について <ol style="list-style-type: none"> ①精神障がい者地域生活移行・地域定着支援圏域会議 ②精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業研修会 ③自立支援ボランティア・ピアサポーター活用事業 ④地域関係施設と医療機関関係職員との交流実習 ⑤出雲圏域精神保健包括支援会議 ⑥相談支援専門員と介護支援専門員との連携 2. 精神障がい者社会適応訓練事業について 3. 保健医療計画について <p>【協議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 措置入院患者の退院支援について

ウ 自死予防に関する部会（出雲圏域自死予防対策連絡会を兼ね、「出雲市自死対策検討委員会」と同時）の開催（2回） ※6 自死予防対策 参照

2 心の健康づくり

(1) 出雲圏域健康長寿しまね推進会議の「こころの分科会」を中心にした活動展開

ア 構成団体

会 長：出雲ほほえみの会

副会長：JAいずも

委 員：出雲商工会議所、島根県立大学看護学部、ぼたんの会、島根県断酒新生会、出雲市

イ 心の分科会 開催状況

開催日	内 容
第1回 平成29年6月8日	・平成29年度活動計画について 出前講座、啓発イベント、自死予防週間・月間キャンペーン
第2回 平成30年2月6日	・平成29年度事業の取組状況 ・平成30年度の取組について

(2) 「心の健康づくり取り組み隊」の再募集し、登録10名。

(3) 地域の要望に応じた啓発

ア 心の健康出前講座 (20回開催 受講者総数 1,127人)

心の健康づくり取り組み隊」等の講師協力により実施

【平成29年度「心の健康出前講座」実施状況一覧】

○事業所 (回数11回、参加者数：563名)

月日	申し込み機関・場所	テーマ	講 師	参加者数
4月25日	特別養護老人ホーム いなさ園	メンタルヘルスについて	秋田	33
5月24日	高松商工振興会	メンタルヘルスについて	富田主任保健師	46
8月9日	島根県出雲合同庁舎	職場におけるストレス対策	牧野所長	97
9月11日	出雲市コミュニティセンター運営協議会 (出雲市自治振興課)	職場のメンタルヘルスについて	岡課長	34
9月27日	出雲市建設業協会	職場におけるメンタルヘルスについて	金山千夜子氏	120
11月24日	平田自動車教習所	「高齢になっても笑顔で 元気に暮らしていこう」	矢本研修医	25
12月19日	(株)トガノ建設	メンタルヘルスについて	金山千夜子氏	41
1月5日	山陰建設工業(株)	メンタルヘルスについて	秋田	50
2月1日 2月2日	出雲市社会福祉協議会	福祉職員のメンタルヘルスについて	海星病院 栗原睦美看護師	83
2月21日	サン電子工業	ストレス対策について	海星病院 栗原睦美看護師	34

○地域住民対象（回数：5回、参加者：269名）

月日	申し込み機関・場所	テーマ	講師	参加者数
5月29日	神門慶人会	高齢者の心の健康について	金山千夜子氏	165
9月6日	出雲スポーツ振興21	認知症予防について	海星病院 林香織看護師	17
1月29日	出雲スポーツ振興21	認知症予防について	県立心の医療センター 木村幸弘看護師	14
2月26日	平田楽園クラブ連合会	高齢者の心の健康について	県立心の医療センター 小村文明副院長	60
3月12日	四絡地区 大塚ミニサロン会	高齢者の心の健康について	金山千夜子氏	13

○思春期（回数：4回、参加者：295名）

月日	申し込み機関・場所	テーマ	講師	参加者数
6月19日	平田小学校	思春期の心について	東美奈子氏（富岡（大）氏、富岡（孝）氏）	51
10月2日	出雲商業高等学校	思春期の心について	東美奈子氏、富岡大樹氏	160
1月19日	西田小学校	思春期の心について	レリーサ 若林看護師（富岡（大）氏、富岡（孝）氏）	23
3月1日	平田小学校	思春期の心について	レリーサ 若林看護師（富岡（孝）氏）	61

イ 出前講座時に実態調査を通じた普及啓発

うつ病に関する○×クイズ・アンケートの実施 253名
 認知症に関する○×クイズ・アンケートの実施 78名

ウ イベントにおける啓発

出雲圏域健康長寿しまね推進会議構成団体、出雲圏域自死予防対策連絡会構成団体とともに実施

実施日	内容
平成29年4月29日（土） （祝）	出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバル ・睡眠に関するアンケート（263名） ・アルコールパッチテスト（428名） ・適正飲酒量に関する展示 ・思春期ボードの展示（睡眠、メディアに関すること） ・チラシ・グッズの配布
平成29年9月11日（月）	自死予防キャンペーン ・チラシ・グッズ配布（661名）

平成29年11月3日(金) (祝)	スサノオごっこいまつり(JAしまね出雲地区本部農業まつり) ・睡眠に関するアンケート(365名) ・自記武アンケート(105名) ・アルコールパッチテスト(220名) ・適正飲酒量に関する展示 ・思春期ボードの展示(睡眠、メディアに関すること) ・チラシ・グッズの配布
平成30年3月1日(木)	自死対策強化月間キャンペーン ・チラシ、グッズ配布(431名)

エ 広報誌(心の健康コーナー)による啓発

出雲商工会議所報、JAしまねへ掲載 掲載回数:3回(8月、12月、3月)

掲 載 月	内 容
8月	心の健康(心のリフレッシュ、ストレス解消)
12月	お酒(適量飲酒)
3月	心の健康(自死予防)

3 相談事業

(1) 心の健康相談

- ・精神科医による心の健康相談 毎月2回(第1・第3水曜日)実施(52件)
うち、子どもの心の健康相談日を設け、精神科医や心理士による相談を実施(5件)
- ・お酒の困りごと相談 毎月1回(第2水曜日)実施(15件)

(2) 随時個別対応を実施

【相談件数】 延べ人数

心の健康相談	酒害相談・家族交流会	随時相談・訪問等	電話相談	支援会議
72	28	681	1680	197

4 医療との連携

(1) 医療保護入院関係の届出状況

各種届や報告が期日内に適正に行われるよう病院担当者等を指導した。

【医療保護入院の届出状況】

区 分	医療保護入院者の 入院届	医療保護入院者の 退院届	医療保護入院者の 定期病状報告	応急入院届	計
件 数	372	366	142	4	884

3月末受理件数

(2) 措置入院

自傷他害のおそれのある精神障がい者が、適切な医療を受けられるよう迅速に対応した。

【措置件数】

区分	申請/通報 届出件数 ①+②+③	診察 不要 ①	診察を受けた者		緊急措置入院の状況			措置 入院者 計② A+C	措置 非該当 計③ B+D
			措置 入院 A	措置 不要 B	緊急措置 入院者数	その後 措置入院 C	その後措置 不要 D		
22条	7	0	2	3	2	2	0	4	3
23条	24	0	17	7	0	0	0	17	7
24条	2	1	1	0	0	0	0	1	0
25条	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26条	5	5	0	0	0	0	0	0	0
26条の2	1	0	1	0	0	0	0	1	0
26条の3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	39	6	21	10	2	2	0	23	10

3月末現在

22条：診察及び保護の申請

23条：警察官の通報

24条：検察官の通報

25条：保護観察所の長の通報

26条：矯正施設の長の通報

26条の2：精神科病院の管理者の届出

26条の3：心神喪失等の状態で重大な他害行為を行ったものに係る通報

(3) 精神科救急医療体制整備連絡調整会議

精神疾患の急発・急変により速やかな医療が必要な者に対して、迅速かつ適切な医療の確保を図り、もって対象者の社会生活を支援することを目的として開催。

【精神科救急医療体制整備連絡調整会議】

開催日時	内容
平成29年10月5日(木) 14:00~16:00	1 圏域における精神科救急医療体制について 1) 空床確保業務の輪番体制について 2) 島根県精神科救急情報センターについて 3) 精神科救急医療体制について(県立こころの医療センター) 4) 出雲保健所年度別通報等件数・措置入院患者数について 5) 救急搬送について(出雲市消防本部) 2 協議事項 1) 精神科救急対応フローチャート配布について 2) 困難事例

(4) 心神喪失者等医療観察法に係る業務の連携

ア 医療観察制度に係るケア会議への出席 ケース2(延べ5回)

イ 医療観察制度運営連絡協議会、研修部会への参画

・島根医療観察制度運営連絡協議会

日時：平成30年1月31日（水） 場所：松江保護観察所

内容：医療観察法施行状況、島根県における施行状況、平成29年度活動報告、パネルディスカッション「医療観察における司法・医療・福祉の連携の在り方について」等

・研究会（2回）

第1回 日時：平成29年7月18日（火） 場所：こころの医療センター

内容：活動報告 平成29年度計画について

第2回 日時：平成29年12月15日（金） 場所：こころの医療センター

内容：活動報告、来年度の活動について

5 精神障がい者の自立と社会参加を支援

(1) 精神障がい者社会適応訓練事業

協力事業所における訓練が効果的に実施できるよう、医療機関等との連携を図り、当事者や家族への支援を行った。定期的な事業所訪問など、協力事業所に対する支援に努めた。

ア 精神障がい者社会適応訓練運営協議会の開催

開催日時	内容
平成29年8月3日（木）	<ul style="list-style-type: none"> 登録事業所の意向調査結果について 平成28年度訓練修了者の状況 平成29年度前期訓練実施状況、後期訓練対象者について 精神障がい者社会適応訓練事業の評価について
平成30年2月5日（月）	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度後期訓練実施状況、平成30年度前期訓練対象について 精神障がい者社会適応訓練事業の周知について 今後の社会適応訓練事業について

イ 協力事業所状況及び委託事業所数（H30年3月末現在）

協力事業所		委託事業所数 (前期・後期合計)
登録数	受け入れ中 今後受け入れ可能 条件が合えば受け入れ可能	
35	23	2

*H29.6月～7月 「精神障がい者社会適応訓練事業に係る登録事業所の意向調査」を実施
登録辞退及び宛先不通の事業所については、登録事業所から除外

*委託事業所:2事業所(内訳:クリーニング業1 農業1)

ウ 訓練の状況

期間	平成29年度		平成30年度
	前期(H29.4～9月)	後期(H29.10～H30.3月)	前期予定(H30.4～9月)
訓練生	2名(継続2)	1名(継続1)	2名(継続1 新規1)

*訓練終了の状況

2年の訓練終了者1名(B型作業所利用検討中)

エ 訓練生交流会の開催

日時:平成29年6月28日(水) 14:00~15:30

場所:出雲保健所 第3会議室

参加者:出雲圏域訓練生2名(担当保健師2名)、雲南圏域訓練生1名(担当保健師1名)、
出雲障がい者就業・生活支援センター 就業支援ワーカー

内容:「訓練がはじまってから頑張っていること・楽しみ」「みんなに聞いてみたいこと」「今日の感想」など

(2) 精神障がい者地域生活移行支援・地域定着支援事業

「入院医療中心から地域生活中心へ」という考え方にに基づき、精神障がい者が暮らしやすい地域社会の実現を目指すことを目的に平成19年度から実施。

ア 精神障がい者地域移行・地域定着推進協議会

(出雲地域精神保健福祉協議会医療の連携と在宅支援に関する部会と兼ねて開催)

※医療の連携と在宅支援に関する部会 参照

イ 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業研修会の開催

精神障がい者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して、本人が充実した生活を送ることができるよう、地域生活への移行に向けた支援並びに地域生活を継続するための支援を推進するため、医療機関に従事する関係職種が地域生活移行・地域定着支援事業についての理解を深めることを目的とし、各医療機関毎にテーマの希望を聞き、研修会を実施。

対象:出雲圏域の精神科病床を有する4病院のスタッフ

内容:

○県立中央病院 テーマ「地域移行・地域定着支援事業とは～地域で行われている支援の実際～」

講師:訪問看護ステーション レリーサ 精神科認定看護師 東 美奈子 氏

日時:H29.11.30(木) 17:30~18:30

場所:県立中央病院 4階 カンファレンス室

参加者数:16名

○島根大学医学部附属病院 テーマ「地域生活移行・地域定着支援の現状」

講師:訪問看護ステーション レリーサ 精神科認定看護師 東 美奈子 氏

日時:H29.9.22(金) 17:30~18:30

場所:島根大学医学部附属病院 8階 カンファレンス室

参加者数:18名

○県立こころの医療センター テーマ「介護認定のポイントと社会資源について」

講師:出雲市健康福祉部高齢者福祉課 介護認定係 主任 岩浅郁子 氏

日時:H29.10.26(木) 16:00~17:00

場所:県立こころの医療センター 2階 大会議室

参加者数:30名

○海星病院 テーマ「ピアサポーター活動について」

講師:NPO法人 こころの森 小村 務氏、岡田貴子氏、吉田通隆氏

日時:H29.11.1(水) 17:30~18:30

場所:海星病院 大会議室

参加者数:27名

ウ 自立支援ボランティア・ピアサポーター等活用事業

(ア) 自立支援ボランティア・ピアサポーター等活用事業連絡会

ほほえみの会とピアサポーターとの連携を検討

日 時	内 容
平成30年2月28日(水) 13:30~16:00 【参加者 11名】	①活動報告(ピアサポーター活動及びほほえみの会の活動について) ②グループワーク(「続 私にできるボランティア活動」) ③まとめ

(イ) 活動状況

- 自立支援ボランティア登録者 15名 活動実績なし
- ピアサポーター 「社会福祉法人ふあっと」及び「社会福祉法人桑友」に委託実施

【社会福祉法人ふあっと】(ピアサポーター活用状況) H30.3月末現在

現時点での登録人数	4人	【活動内容】 ・医療機関の行事等に入院患者と一緒に参加し、活動している。等
内実人員	3人	
活用延べ人数	64人	

【社会福祉法人桑友】

現時点での登録人数	1人	【活動内容】 活動実績なし
内実人員	0人	
活用延べ人数	0人	

※地域移行の事例が少なく、退院までの期間も短いため、ピアを利用することが難しい。

エ 地域関係施設と医療機関関係職員との交流実習

(ア) 医療機関実習

実習日時	実習場所	参加人数	参加者職種
H29.11.14 H29.11.28	きらり(高次脳機能障害デイケア)	3人	PSW 1 介護支援専門員 1 事務 1
H29.11.28	ピノキオ(精神科デイケア)	1人	生活支援員 1
H29.12.5	デイケアひだまり	1人	OT 1
H29.11.10	海星病院	1人	相談支援員 1
H29.12.7	こころの医療センター	4人	OT 2 相談支援専門員 2

(イ) 地域関係施設実習 (H29.10.30)

当事者の高齢化が進み、介護保険を活用する場合が増えており、H29年度も引き続き、相談支援事業所の職員等との顔の見える関係づくりを推進するため、介護職も対象とした交流会を実施。

実習場所	参加人数	職種
訪問看護ステーション レリーサ	1人	OT 1
社会福祉法人 ふあっと	6人	看護師 4 介護支援専門員 1

		OT	1
社会福祉法人 桑友	1人	OT	1
相談支援事業所 プレーゲ 指定障がい福祉サービス事業所 フィリア	1人	介護支援専門員	1
障がい者自立支援事業所ぼんぼん船 指定共同生活支援事業所 ハートフルホーム かんど	1人	OT	1

オ ケア会議等への参画

- ・出雲市精神障がい者退院支援ネットワーク会議及びワーキング会議(月1回)
- ・出雲市自立支援協議会、つながる部会、出雲市自立支援協議会サービス調整会議

カ 出雲地域居宅介護事業者連絡会研修会への参画

- ・平成29年9月11日(月) 13:30~16:00
- ・平成29年12月5日(火) 13:30~16:00

(3) 精神保健包括支援会議の開催(2カ月1回)

※平成25年度まで実施したアウトリーチ推進事業を活用し、多機関・多職種のネットワークによる支援

目的：多機関・多職種による処遇困難事例のカンファレンスを行い、出雲圏域の個別支援のバック

アップ機能を担う。また、精神障がい者の地域移行支援・地域定着支援に関わる検討を行う

内容：

- ・処遇困難事例の検討

実施方法	困難事例(精神医療の中断者、精神疾患が疑われる未受診者、ひきこもりの精神障がい者、長期入院の後退院した者、入退院を繰り返す者)を、多機関・多職種の精神保健包括支援会議のメンバーで検討した。
実施内容	関係機関に本事業の趣旨等を周知し、精神保健包括支援会議に参加可能な機関・職種を幅広く募集した。 ・モニタリングも含め検討した。 ・登録機関の構成員、その他医療機関・相談支援事業所、高齢者あんしん支援センター等より事例を提出してもらい、検討した。
結果	多機関・多職種での精神保健包括支援会議を2月に1回定例開催できた。 ・登録機関数：12機関 ・困難事例の検討は、5ケースを実施した。(平成30年3月末時点) ・事前に、事例提供者に事例の概要をワンペーパーにまとめてもらったことで、事例の全体像がみえやすくなった。 ・多職種、多機関に参加してもらうことで総合的な視点での事例検討ができ、広い視点、新たな視点での支援継続に繋がった。 ・圏域の中での包括支援会議での位置づけが不明確。

	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ推進事業時代から継続的に関わっているケースの検討ができるとうい。 ・事例検討の際、支援の目標設定も決めるとよい。 ・ケースの進捗状況を報告してもらう場があるとよい。
--	---

・意見交換

措置入院患者の退院支援、地域移行・地域定着支援事業の研修会、地域と医療機関職員の交流実習
精神障がい者社会適応訓練事業、ケースカンファレンス、保健医療計画 等

(4) 組織活動の支援

ア 家族会組織の活動支援

(ア) 出雲地区家族会連絡協議会

地域や病院等の各家族会の共通した課題の解決に取り組めるよう支援した。

開催日	内容	参加者
平成29年7月7日(金)	役員会 (ア) 平成28年度事業報告・決算報告について (イ) 平成29年度事業計画・予算(案)について (ウ) 家族会交流会について (エ) 各家族会の状況について	11人
平成29年12月16日(金)	家族交流会 (ア) 講演「地域で安心して暮らすための支援について」 講師 社会福祉法人 桑友 相談支援専門員 勝部 葉子 氏 (イ) グループワーク	17人

イ ボランティア組織への支援

出雲地域の精神保健ボランティア組織「出雲ほほえみの会」の活動が広がるよう支援を行った。
平成17年9月から、従来保健所で実施していたデイケア「なかまの会」をほほえみの会が主催する「サロン」として位置づけ、月1回習字、手芸、調理実習等が行われている。
また、相談支援事業所ふあつとから、生活訓練への協力要請を受け協力(手芸、絵手紙、塗り絵等)。

(ア) 出雲ほほえみの会総会並びに研修会の開催支援

(イ) 活動への同伴、なかまの会活動の見守り

(5) 障がい者福祉サービス事業所への支援

社会復帰のための身近な社会資源である就労支援事業所等の運営について、支援を行った。

湖陵：みずうみ 2回

多伎：ぼんぼん船 2回

6 自死予防対策

管内の自死者は平成28年人口動態統計では20人であった。男性は壮年期に、女性は高齢期に多

いのが特徴。平成17年度から自死防止対策を実施している。

(1) 出雲圏域自死予防対策連絡会（出雲地域精神保健福祉協議会自死予防に関する部会、出雲市自死対策検討委員会を兼ねる）の開催

今年度より、構成団体にしまね分かち合いの会・虹が加わった。また、次年度より連絡会名称も「出雲圏域自死予防対策連絡会」から「出雲圏域自死総合対策連絡会」へ変更することとした。

【構成団体】

- ・医療機関 出雲医師会産業医、精神科医師、精神科看護師、精神保健福祉士
- ・労働職域 島根県環境保健公社、出雲労働基準監督署、出雲商工会議所、斐川商工会公共職業安定所
- ・その他 山陰中央新報社出雲支局、島根日日新聞、出雲市社会福祉協議会
地域生活支援センター、出雲市民生委員児童委員協議会
しまね分かち合いの会・虹
出雲市コミュニティセンター、出雲市高齢者クラブ連合会、島根県弁護士会
- ・行政 出雲市消防本部、出雲警察署、出雲市、出雲市教育委員会、出雲保健所

【出雲圏域自死予防対策連絡会の開催】

開催日時	内 容
第1回 平成29年7月6日（木） 14:00～16:00	1 自死の状況と対策について 2 出雲保健所の取組について 3 出雲市の取組について 4 各団体・機関の取組について 5 30～60代の自死を減らす方策について意見交換 6 ゲートキーパー研修について
第2回 平成30年2月8日（木） 14:00～16:00	1 出雲圏域自死予防対策連絡会について (1) 連絡会の開催状況 (2) 普及啓発活動の取組 2 出雲圏域自死総合対策行動指針による各機関・団体の取組状況について 3 連絡会名称変更について 4 島根県自死対策総合計画の進捗状況及び圏域での課題について

(2) 活動

ア 普及啓発活動の取組

- (ア) 健康長寿しまね推進会議こころの分科会と連携し、普及活動を展開
- (イ) 自死防止キャンペーンを実施

イ 早期発見・早期治療、ゲートキーパーの養成、相談窓口の確保

(ア) ゲートキーパーの養成

- ・島根大学医学部 看護学科 平成29年9月29日（金）10:15～11:45

研 修：ゲートキーパースキルアップ研修

会 場：島根大学医学部

参加者：看護学生 4年生 55名

内 容：ゲートキーパーとは うつ病 傾聴、悩んでいる人への接し方 演習（ロールプレイ）

・出雲地区高等学校保健会 養護教諭部会 平成29年12月8日（金）13:10～16:00

研 修：1部 ゲートキーパー養成研修

2部 子どもの希死念慮・自傷行為への対応

会 場：大社高等学校 有朋館

参加者：高校養護教諭 15名

内 容：

1部 ゲートキーパーとは、うつ病、傾聴、悩んでいる人への接し方、演習（ロールプレイ）

2部 若年層の自死・自傷の現状について リスクのある子どもの特徴 希死念慮への対応 自傷行為への対応 つらいときの対処法 演習（ロールプレイ）

ウ 一般かかりつけ医と精神科医の連携

(ア) かかりつけ医精神疾患対応力向上研修の開催

会 場：出雲医師会館 大ホール

開催日：平成29年12月18日（月）

参加者： 18名

研修内容：一般診療科でよくみる精神疾患についての基礎意識

一般診療科医に期待すること

一般診療科と精神科の連携

7 子どもの心の診療ネットワーク事業

子どもの心の診療ネットワークを構築することにより、様々な心の問題を持つ子どもと家族が状況に応じて適切な相談支援や診療を受けることができることを目的に事業を実施した。

(1) 出雲圏域子どもの心の診療ネットワーク会議の開催（年2回）

日 時	内 容
第1回 平成29年7月27日（木） 14:00～16:00 参加者 18機関（23名）	1. 報告 1) 県立こころの医療センターの取組 2) 平成28年度の事業報告 3) 平成29年度の取組（案） 4) 医師中央派遣研修の報告 講師：島根大学医学部附属病院 長谷川 有紀 医師 ：わたなべこどもレディースクリニック 渡辺浩 院長 2. 協議事項 1) 思春期の心の現状と取組 2) 医師中央派遣研修の広げ方
第2回	1. 報告

平成30年2月22日(水) 14:00～16:00	1) 平成29年度の事業報告 2) 県の取組 3) 県立こころの医療センターの取組
参加者 17機関(23名)	4) 出雲圏域の取組と課題 ・平成30年度の事業取組の方向性の検討 ・学校現場での心についての困り感の調査結果についての報告
	2. 協議事項 就学前と就学以降の繋ぎについて

(2) 子どもの心の健康相談の開催(年4回)

相談対応者：こころの医療センター医師・心理判定専門員、保健師等

回数：年4回(6月7日、8月16日、10月18日、1月18日)

時間：13:00～15:00

対象：子ども・若者支援センター、出雲市教育委員会からの相談事例

内容：精神科医療に繋がっていない困難ケース

相談件数：5件(小学生3件、中学生2件、高校生0件)

(3) 関係者研修会の開催(年1回)

日時：平成29年11月9日(水)13:30～16:00

場所：出雲保健所

対象：検討事例に関わっている、又は過去に関わったことがある支援者

今後、検討事例に関わると思われる支援者

参加者：7機関(17名)

内容：「不登校児との関わり方」について

助言・指導者：県立こころの医療センター 医療技術部長 萬木 暁雄 氏
臨床心理士 高梨 夏美 氏

(4) 思春期出前講座の開催(平成30年3月20日現在)

ア 希望される学校へ出向いて講座の開催

対象：小・中・高校生、保護者、教職員等

回数：4回(295名)

講師：「心の健康づくり取り組み隊」登録講師

東 美奈子氏、若林 隆志氏(訪問看護ステーションレリーサ)

イ 思春期出前講座のPR

希望する学校が年々減少していることを踏まえ、校長会や自死予防対策連絡会等でPRした。又、圏域内の高校を回りながら、若年層の自死状況について説明。併せて、思春期出前講座についてPRした。

(5) 「出雲地域思春期の相談先（2018年版）」の作成

配布先：出雲市立小中学校、出雲市内高等学校、圏域子どもの心の診療ネットワーク会議参加機関、出雲圏地域思春期の心の相談先掲載機関

(6) 医師中央派遣の実施

派遣医師：島根大学医学部付属病院 長谷川 有紀 医師

：わたなべこどもレディースクリニック 渡辺 浩 院長

研修名：第23回発達障害支援医学研修

開催場所：国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟

開催日：平成29年7月5日（水）、6日（木）

8 ひきこもり対策

(1) 相談対応（随時）

(2) 島根県ひきこもり地域支援センターと連携した取り組みを実施。

- ・出雲圏域ひきこもり支援ネットワーク会議・出雲圏域ひきこもりネットワーク研修会(12月18日)
- ・ひきこもり家族教室の開催支援(7月21日、9月22日、10月22日、11月24日)
- ・ひきこもり家族の集いへの開催支援

9 認知症対策

(1) 認知症包括ケアに関する人材育成

ア 歯科医師会及び薬剤師会の認知症対応力向上に向けた取り組みの推進

(ア) 実態調査

歯科委員の患者における認知省の人（または疑いの人）の状況に関する調査（平成29年5月実施）

(イ) 認知症対応力研修会の開催

- ・薬剤師会との合同研修会

日時：平成29年9月12日

参加者：80名

内容：講話「サポート医とは」深田倍行 氏 事例報告 支援の実際を紹介

- ・歯科医師会との合同研修会

日時：平成29年11月22日

参加者：33名

内容：講話「認知症サポート医の役割・連携のポイント」

(2) 認知症サポート医啓発チラシの作成・配布

配布機関：出雲圏域内の病院（11か所）、診療所（147か所）、歯科診療所（62か所）、
薬局（79か所）指定居宅サービス事業所（229か所）、
老人福祉施設・老人保健施設等（52か所）、その他関係機関（12か所）

(3) 各種会議への参画

- ・出雲市認知症高齢者支援強化検討会・出雲市認知症初期集中支援チーム検討委員会

2回（7/27、1/25）

- ・認知症サポート医連絡会 3回(5/23、8/29、2/6)
- (4) 市・医師会と連携した事業の推進
 - ・認知症キャラバンメイト養成研修 12/14(保健師2名受講)
 - ・認知症ケア・フォーラム in いずも 12/2
 - ・出雲認知症懇話会研修会(5/9、8/29、1/23)
 - ・認知症研修会 9/24

10 高次脳機能障がい者支援

- (1) 拠点病院を基点としたネットワーク会議等へ参画
 - ・高次脳機能障がい者支援パワーネットワーク会議への参加
 - 日時：偶数月の第3水曜日
 - 場所：エスポアール出雲クリニック
 - 参加機関：脳神経内科、脳外科、リハビリ関係の医師、コメディカルスタッフ、工学部関係等
行政関係者等多岐にわたる関係機関
 - 内容：行政からの情報提供、研究機関からの最新トピックス、事例検討等を実施
 - ・高次脳機能障がい者支援事業支援コーディネーター連絡会議への参加
 - ・その他研修会への参加：出雲圏域高次脳機能障害研修会
 - ・脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会 実行委員会への参画

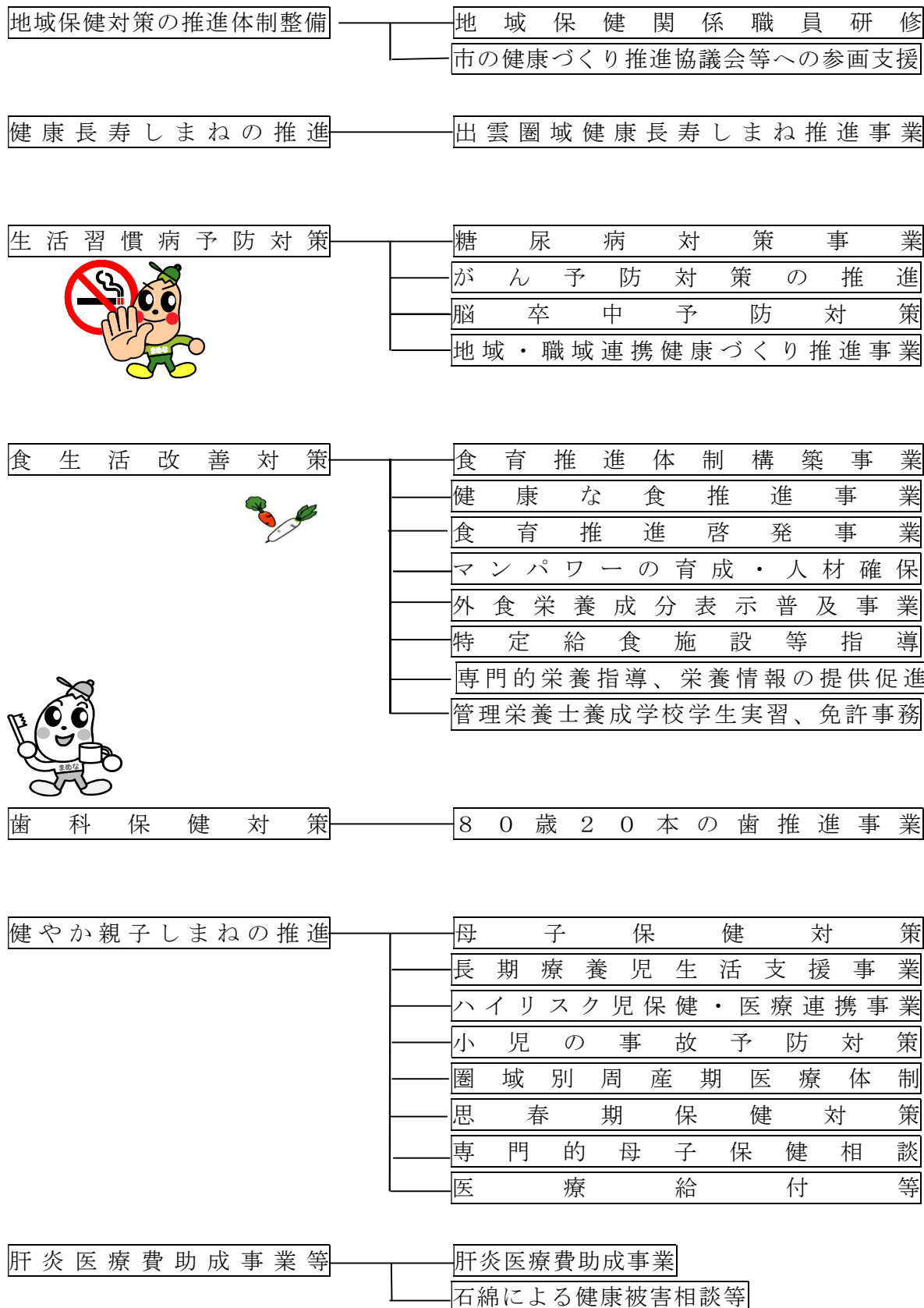
11 市における精神保健福祉活動への支援

- (1) 自死対策への支援
 - 出雲市自死対策検討委員会を出雲圏域自死対策予防連絡会・出雲地域精神保健福祉協議会自死予防に関する部会と同時開催し、自死対策に関する諸課題について検討した。
- (2) 障がい者自立支援法の円滑な実施のための支援
 - 出雲市障がい者施策推進協議会推進会議委員として参画
 - 出雲市障がい者施策推進協議会地域移行部会に担当者が参画
 - 出雲市障がい者施策推進協議会サービス調整会議に参画
- (3) 精神障がい者退院支援事業への支援
 - 出雲市精神障がい者退院支援ネットワーク会議へ参画
 - 出雲市精神障がい者退院支援ワーキング会議へ参画
- (4) 「出雲市要保護児童対策地域協議会代表者会」及び「実務者会議」へ参画し支援
- (5) 出雲市子ども・若者支援協議会および支援者研修会へ参画し支援
- (6) 社会復帰等精神保健福祉相談活動への支援
- (7) 認知症関係
 - 出雲市認知症高齢者支援強化検討会
 - 出雲市認知症初期集中支援チーム検討委員会
 - 認知症ケアフォーラムinいずも
 - 出雲認知症サポート医連絡会
 - 市における相談活動に対し、専門技術的支援を行った。

12 他機関における精神保健福祉活動への支援

- (1) 出雲地区被害者支援ネットワーク総会への参画
- (2) 出雲市女性に対する暴力対策関係機関連絡会への参画

健康増進課業務



健康増進課

1 地域保健対策の推進体制整備

(1) 地域保健関係職員研修

ア 地域保健関係職員研修

出雲圏域の健康課題に応じた保健福祉活動を展開するために必要な知識・技術を習得するとともに、効果的な保健活動の推進につなげることを目的に研修会を開催した。

	日時・場所	内 容	参加者
1回	平成29年10月13日 13時30分～ 16時30分 出雲保健所	1 報告 (1)「平田地域住民の塩分チェックシートによる塩分摂取量の現状と対策」 (2)「1歳6か月児健康診査の生活習慣アンケートから見えてきたことばの発達とメディア視聴の関係～現状と今後の方向性～」 2 情報共有 (1) 島根県災害時公衆衛生活動マニュアルについて (2) 出雲保健所災害活動マニュアル、医療体制の整備等について (3) 出雲市災害時保健活動について (4) 直近の水害発生時の対応について ・出雲市の状況について（リレートーク） ・津和野水害での保健所の対応について 3 演習（グループワーク） 災害発生の際の諸同時及び平時にすべきこと 4 全大会・まとめ 助言者：出雲保健所長 牧野由美子	出雲市及び保健所保健師等 地域保健活動に従事する専門職員 計31名
2回	平成30年1月15日 9時30分～11時30分 出雲保健所	1 事例検討 新任期保健師からの事例紹介と意見交換 2 前期の振り返りと後期に向けて 新任期保健師から発表	保健所保健師等 計8名
3回	平成30年2月13日 13時30分～ 16時45分 出雲保健所	1 新任期保健師成果発表 1年目 4名、2年目 3名、3年目 2名 計 9名 2 先輩保健師からの活動紹介 ー地域ケアシステム構築企画研修の受講を通じての学びー 2 意見交換 3 まとめ・助言 助言者：出雲保健所長 牧野由美子	出雲市及び保健所新任保健師・プリセプター・指導者等 計25名

イ 地域活動歯科衛生士育成支援

日程	4/10	5/8	6/12	7/10	8/7	9/11	10/16	11/13	12/4	1/15	2/13
参加数	11	11	12	12	9	12	12	11	12	11	8
内容	○ライフステージに沿って指導ポイント等を共通認識 ○最新情報など情報提供、事業実施における助言等 ○市の担当者参加の上、事業のねらいの確認、歯科衛生士の役割確認、スケジュール等目線合わせ ○新規事業の打合せ 等										

ウ 地域活動栄養士等への支援

日時・場所・参加人数	内 容
①市・保健所栄養士業務連絡会 開催日：H29年5月26日（金） 場 所：出雲保健所 参加者：市栄養士3名	①・市/保健所の栄養改善業務について ・地域における活動状況 ・情報交換 ②・出雲保健所からの情報提供 ・学校給食における食育推進計画について ③・「簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）」 調査報告 ・市及び保健所栄養士と地域活動栄養士の 情報交換
②学校栄養士・栄養教諭との連絡会 開催日：H29年5月24日（金） 場 所：出雲市学校給食センター 参加者：出雲市学校給食食育研究会13名	
①地域活動栄養士連絡会 開催日：H29年7月28日（金） 場 所：出雲保健所 参加者：地域活動栄養士 10名 市栄養士 3名	

(2) 健康づくり推進協議会等への参画支援

ア 出雲市・保健所事業連絡会の開催

年度初めに、出雲市・保健所事業連絡会を開催し、重点事業並びに事業支援について検討を行った。また、事業ごとに、市及び保健所の担当者連絡会を開催し、情報の共有や役割分担を図り事業の推進に努めた。

会 議 名	開催日
・出雲市・保健所業務連絡会	5/19
・健康長寿しまね推進事業連絡会	11/16
・がん対策について打合せ	6/26 5/18 10/13
・地域職域連携に関する打合せ	7/14
・糖尿病対策連絡会	5/24
・脳卒中予防対策検討会打合せ	8/2
・斐川地域健康づくり推進協議会打合せ	6/23

イ 出雲市の事業への参画

出雲市健康のまちづくり推進会議、斐川地域健康づくり推進協議会への参画、講演等地

区の健康づくり活動への支援及び地域保健関係データ等の分析や情報提供、専門技術的支援を行った。

【出雲市】

会議名	開催日
出雲市健康のまちづくり推進会議及び食育のまちづくり推進会議	7/13 11/2 2/1
出雲市親子ネットワーク会議	8/10
出雲市青壮年期・高齢者ネットワーク会議	9/28
出雲市健康づくり推進員及び食のボランティア合同研修会	5/30
出雲市介護予防サポーター養成講座	7/20
出雲市食のボランティア育成講座	5/30
	6/28, 10/12

【支所】

会議名	開催日
斐川地域健康づくり推進協議会	6/28 3/7
斐川地域産業保健部会	8/25
斐川地域母子健康部会	8/8

2 健康長寿しまねの推進

平成24年度に策定した「第2次出雲圏域健康長寿しまね推進計画（H25～34年）」を基に、健康長寿日本一を目指し、課題である一般住民への啓発と「食生活」「たばこ」「運動」「こころ」「歯科」の5つを重点課題とし、関係機関・団体等の協働により事業を展開した。

今年度は計画の中間評価及び一部改定を行った。

(1) 出雲圏域健康長寿しまね推進事業

ア 出雲圏域健康長寿しまね推進会議の運営

(ア) 出雲圏域健康長寿しまね推進会議

回	開催日・場所	内 容	参加者
1	平成29年6月9日 出雲保健所	1 ミニ学習「がん予防のはなし」 ～2人に1人はがんになる 出雲保健所 所長 牧野由美子 2 平成29年度の主な取組及び平成30年度計画について 3 各団体の健康づくり活動の取組計画について 4 意見交換	26名
2	平成30年3月7日 出雲保健所	1 第2次出雲圏域健康長寿しまね推進計画 中間評価 について 2 平成29年度の事業報告・平成30年度の方向性 について 3 島根県健康長寿しまね推進事業 3 「出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバル」に ついて 5 フレイル予防に関する啓発について	25名

(イ) 出雲圏域健康長寿しまね推進会議 幹事会

回	開催日・場所	内 容	参加者
1	平成29年9月27日 出雲保健所	1 推進会議全体及び各分科会の進捗状況について 2 出雲圏域健康づくり活動交流会について 3 第2次出雲圏域健康長寿しまね推進計画について 4 その他	11名

(ウ) 出雲圏域健康長寿しまね推進会議 分科会

- ・各分科会がそれぞれに会を開催し「事業計画立案」、「実施」、「評価」等を行った。
「食生活」：3回 「たばこ」：2回 「運動」：2回 「こころ」：2回 「歯科」：2回

イ 出雲圏域計画推進事業【全体事業】

(ア) 一般住民への啓発事業

a イベントへの参加

「出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバル」に参加し、健康長寿しまね推進会議のコーナーを設置

日時・場所	参加人数	内 容
平成29年4月29日 (土) 出雲ドーム	約373名 (スタンプラリー参加者)	食生活分科会： 「朝食を食べよう!うす味でおいしく食べよう！」 たばこ分科会：「たばこの害を知ろう！」 運動分科会：「体力を知ろう！」 こころ分科会：「よりよい睡眠について考えよう！」 歯科分科会：「口や顔のマッサージを体験して、いやされませんか？」

b 「まめなくんだより」の発行

タイムリーな内容を掲載し、構成団体及び関係機関等に約2,500部配布し啓発を図った。1回発行 (35号 H29.8)

c 夏休み!早おき、体そう、朝ごはん、歯みがきチャレンジ事業

夏休み期間中の正しい生活習慣確立を目的に、出雲市学校保健会・構成団体の協力のもと実施

出雲市内小学校4校 991名(児童742名、保護者249名)参加

d 健康づくりグループの把握

市・コミセン・構成団体に把握調査を依頼し22グループの情報提供あり(3年未満含む)。

e 健康づくり活動交流会の開催

平成29年12月11日(月)表彰式と併せて実施(活動発表、ミニ研修、展示、試食)
全体参加者136名

(イ) 表彰

a 圏域審査会の開催 平成29年8月28日(月)

b 健康づくりグループ表彰(健康づくり活動交流会において表彰)

- ・奨励賞5グループ、継続賞9グループ、圏域会長賞6グループ、県会長賞1グループ

c 8020よい歯のコンクール(健康づくり活動交流会において表彰)

- ・被表彰者23名のうち、10名の出席

(ウ) 健康づくりグループ支援事業

a 健康づくり出前講座の実施

区分	食	たばこ	運動	こころ	歯科	健康全般	合計
事業所	1	0	0	11	0	10	22

b 健康づくり機器の貸し出し 16回 (10団体)

ウ 出雲圏域計画推進事業【分科会】

《食生活分科会》

(ア) 外食栄養成分表示普及事業

a 健康づくり応援店の拡大・フォロー

- ・新規店舗数 なし
- ・平成29年度 健康づくり応援店 登録店舗数 62店舗

b 連絡調整会議の開催(食生活分科会と併せて実施)

開催日	場 所	内 容	参加者
①平成29年6月8日	出雲保健所	・平成29年度事業計画について	5人
②平成29年12月14日	出雲保健所	※「出雲圏域食育ネットワーク 連絡会」として開催	14人
③平成30年2月22日	出雲保健所	・平成30年度事業について	5人

c 健康づくり応援店のPR

- ・飲食店等が集まる場を活用し、事業のPRを行う。

(イ) 食生活改善に関する啓発事業

a 各種イベントでの「食の体験コーナー」の設置

出雲ドーム：朝食ボードアンケート、減塩チェック、減塩レシピ試食、
展示、レシピ等の配布

活動交流会：減塩レシピ試食、塩分セルフチェックシートの配布

b 食育キャンペーン

日時：平成29年6月17日(土) 10:30~12:00

場所：ゆめマート神西店

内容：①適塩みそ汁の試食：75名

(うち聞き取りアンケート協力者：66名)

②朝食アンケート 回答者 185名

③チラシ・レシピ配布 配布数 約200名

④食育に関する展示

c 食育コーナーの設置

レシピ・パンフレットの配布

時期：平成29年6月、平成30年3月

場所：コミュニティーセンター(23箇所)、保育所(54箇所)

d 出前講座 1回

・H30.1.19 島根県土地家屋調査士会出雲支部(25名)

講師 出雲地区栄養士会 藤井栄養士

e 健康な食普及

①まちの食育ステーション事業(県事業と連動)

- ・健康な食についてのチラシ、レシピ等を店内に設置。

時期：6月（食育月間）

- ・うすあじレシピの試食、チラシ配布、展示、アンケート等を実施。

日時：平成29年9月9日（土）10:00～12:00 場所：グッディー斐川店

平成29年10月14日（土）10:00～12:00 場所：グッディー上成店

平成29年11月11日（土）10:00～12:00 場所：グッディー医大通店

《たばこ分科会》

（ア）喫煙防止教育体制の充実〔未成年者の喫煙防止対策〕

- a 禁煙週間キャンペーンを市内3カ所で行い、啓発を行った。

実施場所：出雲高校、出雲工業高校、出雲西高校

参加者：計7団体、28人の圏域構成団体及び関係団体メンバー

チラシ・グッズ配布数：2,000枚

（イ）禁煙サポート体制の充実〔喫煙者の禁煙支援対策〕

- a 禁煙サポートリーフレットをイベント等で希望者に配布

- b 事業主セミナーにおいて、受動喫煙防止関係のパンフレットを配布

- c 出雲圏域禁煙治療実施医療機関 21機関

（ウ）公共施設、構成団体等の受動喫煙防止対策の推進〔受動喫煙防止対策〕

- a たばこの煙のない飲食店拡大事業

- ・食品衛生協会と連携して事業をPR

- ・健康づくり応援店へ事業のPR

- ・新規登録：1店舗 出雲圏域登録件数：57店舗

- b たばこの煙のない施設登録事業

- ・コミュニティーセンター長会、出雲市へ協力依頼

- ・新規登録 13施設 登録件数 269施設

- c 公共的な施設の受動喫煙防止対策現地調査の実施（平成29年11月16日）

- ・神西コミュニティーセンター意見交換実施

- ・ワルツ商事(有)の取組照会

- d 事業所の受動喫煙防止対策

- ・働く人の健康づくりセミナー（平成29年11月30日）の開催案内に併せて、職場の受動喫煙防止対策の取組についてのアンケート調査を実施

（エ）啓発活動

- a 禁煙週間におけるキャンペーン活動を実施

- ・高校での街頭キャンペーン（平成29年6月6日）

- ・展示：出雲市役所及び保健所においてパネル展示及び啓発チラシ等の配布（平成29年5月31日～6月6日）

《運動分科会》

（ア）運動に関する啓発活動～ロコモティブシンドロームに関する普及啓発

- a 出前講座

- ・実績なし

- b 出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバルでの「運動のコーナー」の設置
 内容：①開眼片足立ちテスト、閉眼片足立ちテスト
 ②展示や運動に関するアンケートの実施
- c ロコモティブシンドロームに関するリーフレットの配布
- d 啓発用媒体の活用 貸し出し件数：7件（事業所2、出雲市4、海士町1）
- e 関係者向け研修会の開催 テーマ「ロコモティブシンドローム」
 ・平成29年11月30日（木）働く人の健康づくりセミナー ミニ講話
 講師 島根県理学療法士会出雲地区 板倉聡宏氏
- f みんなで歩こうチャレンジコンテストの開催
 ・参加申込数：9事業所
 実績報告数：9事業所（参加チーム：45チーム）

(イ) ウォーキング情報の収集・提供

コミュニティセンター長会に出席、情報提供を依頼した。
 →イベント情報提供あり、ホームページに掲載

(ウ) ウォーキングの普及啓発について

a 普及啓発

(a) まめなウォーカー主管のウォーキング大会の企画・運営

日時・場所	参加人数	内 容
平成29年12月3日（日） 宍道湖西岸周辺	61名（ウォーカー4 名、保健所3名）	第5回宍道湖野鳥ウォーク （主催：NPO法人斐川体育協会 ひかわスポーツ夢クラブ）

(b) ウォーキングコース現地調査

○現地調査準備会

- ・平成29年9月7日（木）内容：調査コース及び調査方法の確認

出席者：湖陵コミュニティセンター、湖陵地区健康づくり推進員、湖陵歩こう会、
 出雲市湖陵支所市民サービス課、運動分科会、保健所

○現地調査の実施

- ・日程：平成29年10月24日（火）

- ・対象コース：大社杵築地区コース

- ・出席者：湖陵コミュニティセンター、湖陵地区健康づくり推進員、湖陵歩こう会、
 出雲市湖陵支所市民サービス課、運動分科会、保健所

○現地調査検討会（運動分科会に兼ねて実施）

- ・平成30年2月6日（火）内容：調査結果の分析、次年度に向けた実施について

出席者：運動分科会構成員7名、保健所3名

(c) 地域のイベント

日時・場所	参加人数	内 容
平成29年5月12日 神西コミュニティセンター	ウォーカー1名、保 健所2名	ウォーキングイベント
平成29年10月1日 多伎コミュニティセンター	ウォーカー2名	ウォーキングイベント
平成29年10月21日 神西コミュニティセンター	ウォーカー1名、保 健所1名	ウォーキングイベント

b 交流会

日時・場所	参加人数	内 容
平成29年7月26日 保健所	ウォーカー3名 保健所2名	今年度計画、今後の活動について 検討。地区ごとでの活動の情報交 換。

《こころ分科会》 心の健康支援課の実績報告参照

《歯科分科会》

(ア) 事業所出前講座 実績なし

(イ) 普及啓発… 各種イベントでの「歯科コーナー」の設置

- ①出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバル (4月29日)
- ②中学・高校の文化祭にあわせた歯科相談 (8月30日 出雲高校)
- ③パネル展示、パンフレット配布

地域の健康づくりイベント等でパネル展示、パンフレット配布
糖尿病と歯周病の関連についてリーフレットの活用
思春期向け啓発チラシ（歯肉炎自己チェック）の活用
早食い防止啓発チラシの活用

3 生活習慣病予防対策

(1) 糖尿病対策

ア 糖尿病予防対策検討会

	開催日・場所	内 容	参加者
1回	平成29年9月27日 出雲保健所	1 昨年度の振り返り 2 今年度の取組について	21名
2回	平成30年3月6日 出雲保健所	1 今年度の取組状況について 2 協議事項 1) 今後の糖尿病対策について 2) 合併症予防について	20名

		<ul style="list-style-type: none"> ・出雲市CKD重症化予防ネットワーク体制の構築について <p>3 次年度の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出雲市における糖尿病予防（発症予防、重症化予防）の推進 ・研修会の開催 ・患者支援 	
--	--	--	--

イ CKDフォロー体制ワーキング

	開催日・場所	内容	参加者
1回	平成29年12月4日 出雲保健所	・出雲市CKD重症化予防ネットワーク体制の構築について	12名

・インスリン治療に関するアンケート調査の実施

対 象	出雲市内の診療所（内科、小児科を標榜している診療所；104カ所）
時 期	平成29年8月
回答数(回答率)	61 (58.7%)

イ 糖尿病友の会活動への支援（意見交換）

(ア) 交流会

	開催日・場所	内 容	参加者
1回	平成29年7月20日 出雲保健所	1 自己紹介 2 平成29年度事業計画について 3 交流会：情報交換	9名

ウ 糖尿病勉強会の開催

	開催日・場所	内 容	参加者
1回	平成29年12月17日 出雲保健所	講演①「知って得する！みんなで学ぼう 糖尿病の基本」 講演②「動いて得する！自宅でできる運動」 講演③「食べて得する！みんなで見直そう 食生活」 情報提供：糖尿病友の会の紹介	34名

エ 研修会の開催 ※出雲医師会糖尿病合同カンファレンス共催

日時・場所	参加者	内 容 (テーマ)
①平成29年6月6日(火)	①49名	①症例検討『 行動変容が困難であった2型糖尿病の男児の一例 』 講演『 小児肥満と生活習慣病 』 ②講演『現状における糖尿病とフレイルのエビデンス』 講演『歯の喪失に伴う咀嚼能力の低下が及ぼす影響について』 ③講演『 本当に便利? 「FreeStyleリブレ、リブレpro」 の基礎知識～使用経験から得たメリット・デメリット～ 』 講演『 インスリン療法の基本的な考え方 』
②平成29年10月24日(火)	②33名	
③平成30年3月15日(木)	③42名	

オ 糖尿病療養支援関係者研修会の支援

「飛び出せ!!出雲糖尿病療養指導フォーラム」4回、その他各機関からの案内(2回)を受け、関係機関のコメディカル等への案内を行った。

カ 普及啓発等

- (ア) 「出雲圏域 病院における糖尿病治療・教育等状況」の更新とホームページへの掲載
- (イ) 出雲商工会議所所報・JAいずもに啓発記事掲載
- (ウ) 歯周病啓発リーフレット(平成27年度作成)の改訂・増刷
 ※保険薬局における糖尿病療養指導に活用
- (エ) 出雲大社ブルーライトアップイベント後援
- (オ) 歯科医院掲示用ポスターを作成し、市内歯科医院に配布(出雲歯科医師会で周知)

(2) がん予防対策の推進

- ア がん検診検討会 開催せず
- イ 各種がん検診検討会 開催せず
- ウ 市とのがん対策についての連絡会 10/13
- エ 住民啓発に向けた胃がん対策研修会 2/26
- オ がん検診の受診者増に向けた啓発

開催日・場所<人数>	内 容
○イベントでの啓発 平成29年4月29日(土・祝) 出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバル	チラシ配布 がん検診啓発サポーターによる乳がん自己触診法の指導

- ・出雲商工会議所所報等関係機関の広報媒体に記事を提供し啓発記事掲載
- ・働く人の健康づくりセミナーにおいてチラシ配布

オ がん検診啓発協力事業所の拡大

登録事業所104事業所（新規1）

- ・平成28年度健康づくりセミナーにて把握した5事業所へ、訪問聞き取り調査を実施
- カ がん検診啓発サポーターの派遣調整
活動回数5回（延べ人数8名）
- キ 乳がん触診モデルの貸出
貸出団体 5団体（延べ5回）

（3）脳卒中予防対策

ア 脳卒中等情報システム事業

- ・発症・退院連絡4件（平成29年4月～平成30年3月）

イ 脳卒中予防対策検討会議

開催日・場所	内 容	参加者
平成30年2月6日 ※天候により延期（4月27日開催） 出雲保健所	<報告> 1. 昨年度の振り返り 2. 働き盛りの健康実態 3. 脳卒中発症者の状況 4. 血圧と脳卒中の疫学 <協議> 1. 壮年期男性への発症・再発予防 1) 血圧管理 2) 塩分コントロール	13名

ウ 圏域失語症友の会活動支援

毎月開催される友の会への支援及び充実した活動の継続に向け、圏域言語聴覚士の派遣依頼等を行った。

（4）地域・職域連携健康づくり推進事業

働きざかりの健康づくりの推進のため、各関係機関と連携し共働で取り組むことで、事業をより効果的に実施できた。

ア 出雲圏域地域職域連携推進連絡会

職域保健と地域保健との連携を図り、具体的な取組に向け連絡会を開催した。

開催日・場所	内 容	参加者
平成30年1月31日 出雲合同庁舎	1. 働き盛り世代への情報発信について 2. 職場での健康づくりについて 1) メンタルヘルス対策 2) 受動喫煙対策 3) 健診の事後措置 4) ヘルス・マネジメント認定事業所	商工会議所・商工会、医師会、歯科医師会、健康づくり支援機関、行政等11団体

イ 働く人の健康づくりセミナー

島根産業保健総合支援センター・出雲労働基準監督署・島根労働基準協会出雲支部・出雲市・出雲圏域地域職域連携推進連絡会と共催で開催した。

(打合せ会：2回)

開催日・場所・参加者	内 容
平成29年11月30日 出雲合同庁舎 参加者 56名	<p>○講演「ストレス時代における健康経営の意義と進め方」 島根産業保健総合支援センター 相談員 島根大学医学部特任教授 塩飽邦憲 氏</p> <p>○取組発表「ヘルス・マネジメント認定事業所の取組」</p> <p>○ミニ講話「職場でできる運動・体操」 島根県理学療法士会出雲地区 板倉聡宏 氏</p> <p>○情報提供 出雲市、島根産業保健総合支援センター、出雲保健所</p>

ウ 関係機関との連携、情報発信、啓発活動

- ・ 出前講座の周知
- ・ 斐川健康部会への参加と支援
- ・ 商工会議所所報、JAしまね会報に健康づくり記事の掲載

(5) 特定健診・保健指導

出雲市データヘルス計画の関係会議、国保連での関係会議・研修会に出席
各種会議でのデータ活用

4 食生活改善対策

(1) 食育推進体制構築事業

今年度、教育、生産関係者など幅広く関係機関・団体を参集し、出雲の食育に特化して検討する場として「出雲圏域食育ネットワーク連絡会」を開催し、食に関する関係機関と広く情報交換し、圏域の課題の共有をすることができた。

ア 出雲圏域食育ネットワーク連絡会の開催

開催日・場所	参加者数	内 容
平成29年12月14日 出雲保健所	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域の食育取組経過について ・ 各機関、団体の食育取組状況について ・ 情報提供 ・ 意見交換

(2) 食育サポーター等育成時用

食のボランティア組織の活動が、より主体的な運営・活動となるよう支援を行うとともに

に、食育活動を進める機関・団体を対象とした研修会を開催し、食育推進の基盤整備につなげた。

ア 食育推進研修会の開催

日程・会場	参加者数	内 容
平成30年3月5日 出雲合庁	78名	○行政説明「平成28年度島根県県民栄養調査～意識調査（出雲圏域）～結果について」 ○講演「ライフステージを通じた食育の推進」 ○実践発表 2団体 ○グループワーク ○まとめ

イ 出雲市食のボランティア連絡協議会総会への参加

ウ 出雲市食のボランティア育成教室への支援

(3) 朝食をしっかりと食べよう普及活動事業

日程・会場	参加者数	内 容
平成29年12月15日 大社高校	20名	①講話 「高校生のための食活ガイド～正しい食生活について考えよう～」 ②調理実習 「自分で作って食べる朝ごはん」 講師・実習担当：出雲市食生活改善推進協議会多伎支部、出雲保健所

(4) 健康な食推進事業

スーパーを食の情報発信、実践のための拠点とし、毎月19日「食育の日」に併せて、健康な食（バランスのよい食事や減塩）の啓発を実施した。

ア まちの食育ステーションの設置：市内スーパー6か所

減塩レシピ等を店内に設置し利用者へ配布

イ うすあじレシピの試食、チラシ配布、展示等を実施。

日時：平成29年9月9日（土）10:00～12:00 場所：グッディー斐川店

平成29年10月14日（土）10:00～12:00 場所：グッディー上成店

平成29年11月11日（土）10:00～12:00 場所：グッディー医大通店

(5) 外食栄養成分表示普及事業

※圏域健康長寿しまね推進事業参照

(6) 特定給食施設等指導

給食施設の実態把握により、各施設において適正な給食が提供されるよう指導を行った。

（個別指導）病院：11施設、児童福祉施設：5施設

(集団指導)

対象・参加者数	日時・場所	内 容
出雲市保育協議会 調理担当者 50名	平成29年8月10日 出雲保健所	「保育所における食物アレルギー対応について」

(その他)

- ア 出雲D2会（出雲地域の病院と施設の栄養士の情報交換会）への参加：1回
- イ 留置人の糧食カロリー計算：1回
- ウ 栄養管理状況報告書の提出依頼、収集
- エ 保育所における食物アレルギー対応の手引書の周知

(7) 専門的栄養指導

- ア 長期療養児への支援
食物アレルギー親子交流会（にんじんくらぶ）への支援 平成30年2月17日（土）
- イ 衛生教育の実施 4回
- ウ 炎症性腸疾患食事学習会への支援 平成29年7月30日（日）

(8) 栄養情報の提供促進

- 機能食品並びに栄養表示基準制度の周知
- 栄養表示基準、誇大表示等についての相談 2件

(9) 管理栄養士養成学校学生実習

- 受入期間：平成29年9月6日～12日
- 受入施設及び人数：美作大学(2)、岡山県立大学(1)、園田学園女子大学(2)

(10) 国民健康・栄養調査の実施

地区指定なし

(11) 免許関係

- 管理栄養士免許 (新規 7件、書き換え 1件)
- 栄養士免許 (新規 4件、書き換え 3件、再交付 2件)
- 調理師免許 (新規 30件、書き換え 4件、再交付 3件)

5 歯科保健対策

(1) 80歳20本の歯推進事業

生涯を通じた歯と口の健康づくりのため、①むし歯予防のためのフッ化物洗口の推進、②壮年の歯周疾患対策、③高齢者や急性期の口腔機能向上等の課題について関係諸機関と連携強化を図り取り組んだ。

- ア 歯科保健連絡会議

地域の歯科保健の課題について、ライフステージに沿って検討を行った。

開催日・場所	メンバー	内 容
平成30年1月11日 出雲保健所	歯科医師会 歯科衛生士会 市・保健所	1. 乳幼児・学童 1) 報告 歯科保健データについて 2) 協議 ①乳幼児健診について ②学童期のむし歯対策 2. 青壮年期・高齢者 1) 報告 ①歯周病検診の結果 ②高齢者の口腔フレイル予防 ③病院・施設・在宅療養支援 2) 協議 ①かかりつけ歯科医の定着に向けて ②高齢者の口腔フレイル予防 ③病院・施設・在宅療養支援

イ 事業所における出前講座の実施 (健康長寿しまね推進事業 歯科分科会に記載)
実績なし

ウ 市等への支援

(ア) 市の歯科保健事業について関係機関の調整

地域活動歯科衛生士の人材調整 (市への事業派遣)

歯周病検診の診査票改定の打合せへの参加

フッ化物洗口実施に向けた学校説明への支援

(イ) 歯科医師会の活動支援

地域包括口腔ケア会議への出席

(ウ) 地域活動歯科衛生士の活動支援

- ・在宅歯科衛生士連絡会 (毎月開催) での助言、情報提供
- ・歯科保健指導用の共通の媒体を作成・配布し、各地域活動歯科衛生士が指導時に活用できるようにした。
- ・連絡会には必要時、市の事業担当保健師の参加も働きかけ、事業の趣旨説明、効果的な事業になるための目線合わせを行った。

エ 親と子のよい歯のコンクールの開催

平成29年5月11日に開催し5組参加。2組を県大会に推薦した。

6 母子保健対策

(1) 出雲圏域母子保健推進協議会

日 時	平成30年1月18日（木） 14:00～16:00
場 所	出雲保健所
内 容	1 出雲圏域健やか親子しまね計画の評価について (1)平成25～29年度出雲圏域健やか親子しまね計画の評価について (2)平成25～29年度 各機関の特徴的な取組・成果及び課題について 2 新出雲圏域健やか親子しまね計画について
参加人数	検討会委員32名 保健所7名 計39名

(2) 長期療養児生活支援事業

ア 食物アレルギー児親子交流会（にんじんくらぶ）

【保健所共催】

	開催日・場所・参加人数	内 容
1	平成30年2月17日（土） 出雲保健所 参加者26名（親12名・子ども14名） 関係者3名、託児3名	①調理実習 ②交流会

イ ダウン症児親子交流会（クローバーの会）

平成21年度より自主交流会が発足した。保健所とタイアップの交流会を2回、自主交流会は3回開催され、随時支援を行った。

【保健所主催】

	開催日・場所・参加人数	内 容
1	平成29年7月9日（日） 出雲保健所 13組（子ども13名、親17名 計30名）、 講師 1名、学生ボランティア11名、 保健所3名 計45名	1 交流会 座談会 ファシリテーター 島根大学教育学部教授 原広治氏
2	平成29年10月1日 出雲保健所 13組（子ども16名、親16名 計32名）、 講師1名、関係者2名、保健所3名 計38名	1 体験学習「親子でレッツダンス」 講師：勝部恵子氏 2 交流会

自主交流会；平成29年5月17日、7月23日、3月11日

ウ 口唇口蓋裂児親子交流会（ピーチの会）

これまで松江圏域の会に参加を呼びかけていたが、口唇口蓋裂児の出生と他の保護者との交流の要望を受け、平成22年度から出雲圏域での交流会を企画・実施した。

また、平成23年度からは会の名称を決められた。

	開催日・場所・参加人数	内 容
1	平成29年5月21日（日）14:00～16:00 いずも子育て支援センター 12組(子ども11名、親17名 計28名) 関係者3名、託 児ボランティア19名、保健所7名 計57名	1 自己紹介および近況報告 2 交流会
2	平成29年10月29日（日）14:00～16:00 いずも子育て支援センター 13組(子ども15名、親17名 計32名)、講師1名、 関係者4名、託児ボランティア4名、実習生4名、保健所4 名 計49名	1 学習会 2 座談会

(3) ハイリスク児保健・医療連携事業

ア 医療依存度の高い在宅療養児生活支援検討会（研修会）

日 時	平成30年2月21日（金）17:30～19:30
場所、出席者	出雲保健所、70名
内 容	実務者での情報共有や連携強化を図るため研修と兼ねて開催した。 1) 出雲圏域における医療依存度の高い在宅療養児支援の取組経過・現状 について 2) 活動報告 3) 体験発表 4) グループワーク

イ 在宅療養支援ファイル等の活用に関する学習会

○出雲小児科医会

- ・日時：平成29年12月13日（水）19:30～20:50
- ・会場：パルメイト出雲3階和室
- ・参加者：13名（出雲小児科医会医師10名、講師1名、保健所2名）
- ・内容：「在宅療養支援ファイルについて」

講師：島根大学医学部看護学科教授 矢田昭子氏

ウ ケースの支援会議、訪問等の実施

ケース支援会議 14件（延べ 29回）

訪問指導 実人数21人（延べ96人）うち小児慢性特定疾患対象児6人（延べ26人）

相談指導 実人員4人（延べ5人）うち小児慢性特定疾患対象児4人（延べ5人）

連絡調整 実人員25人（延べ264人）うち小児慢性特定疾患対象児7人（延べ91人）

エ 医療依存度の高い在宅療養児親子交流会

日 時	平成29年9月9日（土）10:00～15:30
場 所	さざなみ学園

内 容	親子活動、療育活動、保護者の交流会（ハンドマッサージ）、ミニコンサート、プール活動
参加人数	家族5組（対象児5名、母5名、父2名、きょうだい6名 計18名） 助言者2名、訪問看護師5名、関係機関18名、学生ボランティア2名、保健所5名 計50名

オ 情報提供のツールとしての在宅支援ファイルの随時更新と活用
在宅支援ファイル活用件数 累計52件（新規3件）

（4）小児の事故予防対策

ア ネットワークの推進

（ア）小児の事故予防ネットワーク会議

開催日・場所	内 容	参加者
平成29年10月26日（木） 15:00～17:00 出雲保健所	1 これまでの主な取組の成果と課題について 2 出雲圏域健やか親子しまね計画の評価について 3 平成30年度の事業計画 4 小児の事故実態調査・事故事例調査について 5 その他	委員 10名 事故予防サポーター 3名 保健所 5名

（イ）小児の事故予防サポーター養成研修会（再教育を兼ねる）

- ・第1回 平成29年7月4日（火）
- ・第2回 平成29年8月30日（水）

*平成14～29年度の累積351名（内訳：施設260名・在宅91名・行政10名）

（ウ）サポーターの登録・交流会

a 小児の事故予防サポーターの登録

今年度登録は9名であった。

b サポーター交流会の開催

- 第1回 平成29年6月20日（火） 参加者：サポーター6名 市担当保健師
- 第2回 平成30年3月6日（火） 参加者：サポーター5名、市担当保健師

（エ）小児の事故事例の情報提供

- ・日本小児科学会の情報、消費者センターの発表、新聞記事等小児の事故事例について、サポーター及び市に情報提供を行った。

イ 小児の事故予防サポーター活動の推進

- ・小児の事故予防サポーターによる事故予防出前講座の実施(11回)

ウ 小児の事故予防に関する普及啓発

- ・小児の事故予防サポーターへ事故事例の情報提供
- ・啓発媒体の活用促進～小冊子・リーフレットの配布、啓発グッズやパネルの貸出し
- ・啓発用ポスターの活用
- ・乳幼児期の家庭へ向けた啓発

(5) 出雲圏域周産期医療体制検討会

ア 出雲圏域周産期医療体制検討会

	1回目	2回目
開催日	平成29年10月10日(水) 19:00～21:00	平成30年3月7日(水) 19:00～21:00
場所	出雲保健所	島根県立中央病院 小会議室
参加人数	島根大学・県中病院(産婦人科医師・小児医師・助産師・看護師)開業医、地域助産師、市、保健所等 18名	島根大学・県中病院(産婦人科医師・小児医師・助産師・看護師)開業医、地域助産師、市、保健所等 19名
内容	1 低出生体重児の背景調査及び生活指導について 2 産後うつ等支援が必要な妊産婦への支援について	1 研修 症例を通してメンタル面で支援が必要な妊産婦への支援について 2 妊婦の生活習慣と児の関連に関する調査について

イ 出雲圏域周産期看護連絡会

開催日	平成29年12月5日(火) 17:00～19:00
場所	出雲保健所
内容	1 「妊婦の生活習慣と児の出生に関する調査」について 2 出雲市の取組について 3 常位胎盤早期剥離の対応等について 4 産科と精神科との連携について

ウ 出雲圏域周産期症例検討会

県立中央病院と島根大学医学部附属病院の産婦人科が交互に担当して開催

(6) 思春期保健対策

ア 思春期保健ネットワーク連絡会

実施せず

イ 性に関する補助教材及び活用の手引き等に関する説明会

実施せず

ウ 思春期保健相談

電話相談 5件

エ 思春期保健教室 1件（窪田小学校 15名）
 内容：思春期の心と体の変化について

オ その他

- ・ 思春期の性に関する専門相談窓口の把握
- ・ 「出雲地域思春期のこころとからだの相談先（2018年度版）」情報更新
- ・ 中学生に向けた啓発用リーフレットの配布、情報更新

(7) 専門的母子保健相談

乳幼児突然死症候群（SIDS）の相談 0件

(8) 医療給付等

ア 小児慢性特定疾病医療支援事業申請	222件
（内訳：新規 33件、更新 159件、変更等 30件）	
イ 特定不妊治療費助成申請（男性不妊検査費助成申請等を含む）	278件
ウ 乳幼児等医療費助成に係る慢性呼吸器疾患等14疾患群の判定	0件
エ 先天性代謝異常等検査要精密検査児の受診等の確認	件（延べ）
オ 妊娠高血圧症候群等療養援護費申請	0件
カ 受胎調節実地指導員指定申請	2件

8 その他

(1) 肝炎医療費助成事業

申請件数	331件
（内訳）新規 69件（インターフェロン 1件 インターフェロンフリー 59件 核酸アナログ 9件）	
更新	217件
変更等	45件

(2) 「石綿による健康被害の救済に関する法律」による健康被害の救済業務

- アスベストによる健康相談 …… 相談件数 0件
- 石綿による健康被害救済認定申請… 申請件数 2件

医事・難病支援課業務



医事・難病支援課

1 島根県保健医療計画の策定及び医療連携体制の構築

第7期保健医療計画の策定に向けて、出雲地域保健医療対策会議等で検討を深めた。又、地域医療構想と、誰もが希望する場所で療養できる医療体制の構築を目指して、医療・介護連携専門部会で課題の共有化と対策の検討を行った。

(1) 出雲地域保健医療対策会議

<第1回>

開催日：平成29年7月31日（月）14：00～16：00

- ・保健医療計画の概要と策定スケジュールについて
- ・圏域の現状と課題について

<第2回>

開催日：平成29年12月4日（月）14：00～16：00

- ・保健医療計画案について

<第3回>

開催日：平成30年3月26日（月）14：00～16：00

- ・保健医療計画と進行管理について
- ・重点目標について

(2) 医療・介護連携専門部会

<第1回>

開催日：平成29年7月14日（金）19：00～21：00

- ・保健医療計画の概要と策定スケジュールについて
- ・医療機能調査を踏まえた医療連携体制図について
- ・地域医療構想策定後の動向について
- ・在宅医療の推進について
- ・地域医療介護総合確保基金について

<第2回>

開催日：平成29年11月29日（水）19：00～21：00

- ・保健医療計画案について
- ・在宅医療の推進について

<第3回>

開催日：平成30年2月22日（木）19：00～21：00

- ・出雲圏域の医療と介護の状況について
- ・新公立病院改革プラン、公的医療機関等改革プランと地域医療構想について

(3) 災害保健医療対策の推進

ア 出雲地域災害医療対策会議の開催

開催日：平成30年3月2日（金）19：00～21：00

- ・圏域の災害医療体制について

- ・出雲市の災害対策の取組について
- ・情報交換
 - *圏域内病院や関係機関の災害時における通信途絶時の対応について「情報収集管理シート」を利用して検討を行った。

イ 災害時等訓練への参加

- ・衛星電話通信訓練の実施（平成30年3月6日）

ウ 研修会の開催

- ・衛星通信システムの使用方法について所内研修を実施（平成30年3月1日）

(4) 在宅医療対策（低栄養改善・食支援対策）の推進

ア 低栄養改善・食支援対策検討会の開催

<第1回>

開催日：平成29年7月6日（木）19：00～21：00

- ・出雲圏域における「低栄養改善・食支援」の現状と課題について
- ・各機関・職能団体の取り組み状況の共有
- ・今後の取組について意見交換

<第2回>

開催日：平成30年3月13日（火）19：00～20：30

- ・第1回検討会の振り返り
- ・各機関・団体の取り組み状況の確認
- ・今後の取り組みについて検討

イ 研修会の開催

開催日：平成29年12月19日（火）19：00～21：00

- 内 容：1. 低栄養・食支援のケアの現状を知る
 2. 「低栄養の定義」を学ぶ
 3. 栄養状態・口腔内のアセスメントを考える
 (1) 専門分野からみた必要な視点の確認
 (2) グループワーク

2 医療の安全管理対策

(1) 医療機関への立入検査の実施

医療法第25条第1項に基づき立入検査を実施した。

実施数と期間

- ・病院 11か所（平成29年9月～平成30年1月）
- ・有床診療所 4か所（平成30年2月～平成30年3月）
- ・無床診療所 30か所（平成29年6月～平成29年8月）

(2) 医療安全相談窓口の設置

医療の安全と信頼を高め、医療機関における患者サービスの向上を図ることを目的に相談窓口を設置。医療に関する相談、苦情を受付必要に応じて医療機関への情報提供等実施。

- ・相談件数：19件（内医療機関へ情報提供等した事例は3件）

(3) 医療法に基づく届出等

医療法に基づく届出、変更等の事務、医療機関の新規開設、施設構造設備変更に伴う現地確認を実施。

3 結核予防対策

(1) 結核発生状況（平成29年1月1日～12月31日）

平成29年結核新規登録患者数は13人であり、昨年に比べ5人減少、過去5年間で最も少なかった。近年は70歳以上が7割以上を占めると共に、外国籍の若年層患者の発生が続いている。

	活動性結核					(別掲) 潜在性結核 感染症
	肺結核活動性				肺外結核 活動性	
	総数	喀痰塗抹陽性	その他の結核 菌陽性	菌陰性・ その他		
13	8	4	2	2	5	6

(2) 結核部会開催数および診査件数

	開催数 (出雲保健所分のみ)	診査件数			
		18条	20条の1	20条の4	37条の2
定期	22	4	2	10	27
臨時	6	5	5	0	0
合計	28	9	7	10	27

(3) 結核従事者研修会の開催

出雲圏域の医師及び医療関係者を対象に、結核の鑑別診断の質の向上を図ることを目的に研修会を開催した。

開催日：平成29年10月20日（金） 19：30～21：00

場 所：出雲医師会館

内 容：①報告「出雲圏域の結核の状況について」

出雲保健所 診療放射線技師 佐々木 拓郎

②講演「出雲の結核から学ぶ～平成28年新規登録結核患者の症例報告～」

出雲保健所 医療専門幹 岡 達郎

(4) 結核患者の療養支援

ア 個別相談による支援

① 電話：延人員 288名

② 来所：延人員 57名

③ 訪問：延人員 185名（うちDOTS 100名）

/実人員 42名（うちDOTS 22名）

イ コホート検討会の開催

- ① 定例検討会 結核部会後に実施（第4水曜日）
 検討対象者：延人員 121名 / 実人員 31名
 検討回数：12回
- ② 平成28年治療成績検討会 1回 / 32名検討
- ③ 結核患者支援関係者会の開催
 日時：平成29年3月13日（火）10：00～12：00
 場所：保健所大会議室
 参加者：計19名（島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、出雲市立総合医療センター、出雲市民病院、出雲徳洲会病院、雲南・県央保健所）
 内容：結核患者が発生した際の必要書類と手続きと支援の流れについて、地域DOTS、事例紹介・課題等の検討

(5) 接触者に対する健康診断の実施

保健所実施数	X-P： 10件
	QFT：154件
	ツ反： 1件
委託医療機関実施数	61件
環境保健公社実施数	6件
未受診になったケース	0件

(6) 精密検査の実施

保健所実施数	X-P： 17件
委託医療機関実施数	33件

(7) 登録者の所属する集団等に対する衛生教育の実施

事業所において実施
 実施日：平成29年12月1日
 参加者：22名

4 難病対策

(1) 医療費の一部公費負担申請の受理、進達

ア 特定医療費受給者証交付状況（平成30年2月末現在）

- ・新規交付件数 179件
- ・更新交付件数 1,346件（9月更新：64件、12月更新：1,282件）
- ・受給者証所持者数 1,454人

イ 在宅人工呼吸器使用特定疾患患者訪問看護治療研究事業 2件

ウ 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業 3件

エ スモンに対するはり、きゅう及びマッサージ治療研究事業 1件

オ 難病指定医新規指定 30件、指定医療機関新規指定 9件

(2) 在宅療養者への支援

ア 患者家族への療養支援

相談（電話・来所）：1, 826件（延べ、申請時相談含む）

家庭訪問：76件（延べ）

ALS患者等のカンファレンス等への参加：延べ15回（実人員 ALS他11名）

イ 専門相談の実施

しまね難病相談支援センター主催による専門相談の紹介

ウ 患者、家族への支援、家族会の育成支援

項目	開催日 (参加人数)	内 容
パーキンソン病	H29. 7. 12 (57人)	講演会 「パーキンソン病療養のヒント 深田医院 深田 倍行 先生 意見交換
	H29. 10. 27 (34人)	講話「おいしく食べて、楽しく話そう！ ～パーキンソン病の口のリハビリテーション～」 寿生病院 言語聴覚士 加茂昌子 氏 ・交流会
患者・家族会 つくしの会支 援	H29. 12. 13 (15人)	忘年のつどい 一人芝居・レクリエーション
	3回 (延10人)	役員会 事業の運営等について
	1回	たよりの発行
眼科疾患	H29. 12. 10 (12人)	「災害に備えよう」 ライトハウスライブラリー 主任情報支援員 庄司 健 氏 ・情報交換・交流
膠原病	H30. 3. 17 (19人)	講話： 「膠原病の基礎と最近の話題」 島根大学医学部附属病院 膠原病内科 本田 学医師 ・交流会
炎症性腸疾患	H29. 7. 30 (9人)	食事学習会 ・おなかにやさしく旬の食材を使った食事を作って楽し もう 出雲保健所管理栄養士
	H30. 3. 4 (9人)	・旬の食材を使って食を楽しもう～体調に合わせた食事 の工夫～ 島根県立大学短期大学部松江キャンパス 健康栄養学科 教授 名和田清子 氏

エ 全県組織の患者家族会への参加、支援

- ・全国膠原病友の会島根県支部（総会）：5月14日（日）
- ・全国パーキンソン病友の会島根県支部（総会）：6月4日（日）
- ・日本ALS協会島根県支部（総会）：7月2日（日）
- ・全県的患者・家族交流会：平成29年9月1日（金）、平成30年3月9日（金）

オ 訪問指導事業（専門職による訪問事業）

- ・平成29年度は実績なし

カ 難病患者の意思伝達装置等の貸し出し事業

- ・購入前の試用や練習のための意思伝達装置等の貸し出し、マルチケアコールの貸し出しを行った。

貸出回数：伝の心0回、レッツチャット6回、入力装置4回、マルチケアコール1回

(3) 人工呼吸器使用等の重症難病患者の療養支援

ア 出雲圏域難病対策地域協議会の開催

開催日：平成29年12月12日（火）19：00～21：00

場 所：出雲保健所 大会議室

出席者：委員（24）名

内 容：・圏域における難病対策の現状と課題について

・災害時対応について

・保健医療計画出雲圏域編（難病等）の策定について

イ 出雲圏域重症神経難病患者に係る介護支援専門員連絡会及び研修会の開催

開催日：平成29年6月30日（研修会）、7月24日、9月12日、11月21日
平成30年1月16日、3月20日 計6回

※企画会議において企画運営を行った。

内 容：情報交換、事例検討、松江医療センターでの研修、松江圏域のケアマネとの交流、など

ウ 在宅重症難病患者一時入院支援事業の実施

内 容

- ・医療依存度の極めて高い在宅重症難病患者の介護を行う者の休養等のため、重症難病患者が医療機関に一時的に入院できるよう支援する。

管内委託医療機関数：6病院

実績件数：利用実人員 3名

受け入れ医療機関数 2（圏域内1機関、圏域外1機関）

エ 難病患者の災害時支援体制の構築

- ・災害時個別支援計画の策定支援（ケアマネが中心に策定）。策定患者数3名
- ・緊急時等受療シートについて訪問看護師が作成
- ・人工呼吸器装着患者の災害時対応訓練を実施。災害訓練実施数2名。
- ・非常用発電機の使用に関する研修会の実施（市及び保健所職員を対象）

(4) 難病医療研修会の開催

開催日：平成29年6月30日（金）19：00～20：30

内 容：「神経難病を知る～進行による病状の変化と医療のかかわり、大切にしたい視点～」

講師 島根大学医学部附属病院 神経内科 助教 安部哲史氏

参加者：54名

(5) 難病ボランティアの育成及び自主活動支援

ア 難病ボランティアサークル「ありんこ」への支援

○フォローアップ研修会の開催

開催日：平成29年7月11日（火）13：30～15：30

場 所：出雲保健所健康増進室

内 容：「心がつながる出雲弁～あわただしい毎日に癒しを～」

講師：奥野 栄 氏 参加者7名

○活動内容：総会、患者・家族会への支援（声掛け、機関誌発行等）

イ 在宅療養重症難病患者と学生ボランティアのコミュニケーション事業の実施

○研修会の開催

開催日：平成29年6月30日（金）19：00～20：30

内 容：「神経難病を知る～進行による病状の変化と医療のかかわり、大切にしたい視点～」講師 島根大学医学部附属病院 神経内科 助教 安部哲史氏

参加者：54名（内 島根大学看護学科学生 7名）

○活動状況

利用者：5名（神経難病等の在宅療養患者）

実施学生：島根県立大学出雲キャンパス 在宅ボランティアサークル在籍学生

島根大学医学部看護学科 ボランティアサークル「えすこに」在籍学生

(6) しまね難病相談支援センターとの連携

難病相談支援センターは、難病患者等の相談支援、地域交流活動の促進及び就労支援等を行う拠点施設であり、患者等の様々なニーズに対応したきめ細やかな相談や支援が行われている。中でも、特に難病医療専門員と連携を図り、難病患者・家族の支援を行った。

5 肝炎対策

(1) 肝炎検査・相談の実施

ア 肝炎相談 49件 （電話12件 来所37件、その他0件） （検査者を含む）

イ 無料検査件数 41件

：HBVのみ	0件
：HBV+HCV（核酸増幅検査実施）	0件
：HBV+HCV（核酸増幅検査不要）	40件
：HCVのみ（核酸増幅検査不要）	1件

(2) 肝がん等重症化予防事業

ア 出雲市と連携し、精密検査の紹介状や案内封筒を作成した。

イ 初回精密検査費用助成申請：5件（うち2件は出雲市にてフォローアップ）

定期検査助成申請：15人（実人員）

6 原爆被爆者対策

関係機関との連携を図りながら、医療機関との委託による健康診断及びがん検診を実施した。（原爆被爆者手帳交付者数：平成29年度末92人）

(1) 健康診断等の実施

ア 健康診断

実施時期：(前期) 平成29年6月1日～7月14日
(後期) 平成29年11月1日～12月25日

受診者数：(前期) 64人
(後期) 44人

イ がん検診

実施時期：平成29年9月11日～12月8日
受診者数：5人(希望者5人)

ウ 住基ネットによる手当受給被爆者の生存の事実等の確認

実施日：平成30年3月2日
確認件数：45件

7 エイズ対策事業

(1) エイズ相談、検査の実施

相談件数 64件(検査者を含む)
検査件数 57件

(2) 普及啓発活動

ア HIV検査普及週間事業

・HIV即日検査実施：平成29年6月1日(木) 16:00～19:00
平成29年6月7日(水) 16:00～19:00

・検査件数：5件((1)の検査数に含まれる)
・広報活動：保健所ホームページ等

イ 世界エイズデー関連事業

・HIV即日検査実施：平成29年11月30日(木) 16:00～19:00
平成29年12月4日(月) 16:00～19:00

・広報活動：出雲市広報、保健所ホームページ、保健所内掲示物

ウ 個別施策層への啓発

学園祭で啓発

県立大学出雲キャンパス つわぶき祭 :平成29年6月10日(土)
リーフレット等150部配布

エ 学校等での啓発活動の支援・情報提供等

随時、島根県作成パンフレットの配布

(3) エイズ出張講座

高等学校1校で実施

実施日：平成30年2月15日

参加者：160名

8 移植医療推進及び骨髄提供希望者登録推進事業

(1) 普及・啓発

ア 臓器移植推進月間啓発キャンペーンの実施

開催日：平成29年11月3日(日)

場 所：JAいずも農業まつりに協賛（JAいずも本店駐車場）

内 容：臓器移植等の啓発ポスター掲示、パンフレット及び風船やグッズの配布

イ パンフレット、ポスター配布、掲示

- ・ 出雲保健所の玄関・ホールに骨髄バンク推進のポスターの掲示及び啓発用チラシ・パンフレットを配置し、保健所ホームページに掲載
- ・ 出雲市（本庁、支所）にポスター及びパンフレットを配布

（2）骨髄ドナー登録窓口業務の開設

開設日：毎月第1・3月曜日 13：30～15：30 要予約制（原則）

登録件数 4件（平成29年4月～平成30年3月）

（3）献眼

知事感謝状の贈呈：5件

9 緩和ケア推進事業

（1）出雲圏域緩和ケア検討会の開催

開催日：平成30年2月26日（月）19：00～21：00

内 容：・ 圏域の緩和ケア推進状況について

（緩和ケア推進事業、各機関の取組状況、地域緩和ケア連携調整員について）

- ・ 緩和ケア提供体制の課題と今後の方向性

（病院から地域へのスムーズな連携体制、痛みのスクリーニング、住民併発について）

（2）人材の育成

ア 研修会の開催協力

- ・ 圏域内のがん診療連携拠点病院を中心に開催される研修会の周知等に協力

イ 緩和ケア従事者研修の開催

開催日：平成30年1月17日（水） 18：30～20：00

場 所：出雲保健所大会議室

参加者：54名

内容

- ・ 講演「在宅がん患者のための痛みのお薬」

講 師：島根大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 齊藤 洋司氏

- ・ リレートーク テーマ：「がん患者の在宅支援を考える～痛みのお薬管理について」

施設の立場から：特別養護老人ホームみせんの里 施設長 石飛 智朗氏

ヘルパーの立場から：訪問介護ステーション むつみ

サービス提供管理者 吉岡 久美子氏

薬剤師の立場から：ファーマンイすこやか薬局 管理薬剤師 熊谷 岳文氏

(3) 普及啓発事業（住民向け）

一般住民向け座談会を出雲市 医療介護連携課と連携して実施

- ・第1回 平成29年10月19日 大社地区 参加者43名
- ・第2回 平成29年11月20日 鳶巣地区 参加者30名
- ・第3回 平成30年2月15日 介護予防サポーター 参加者29名

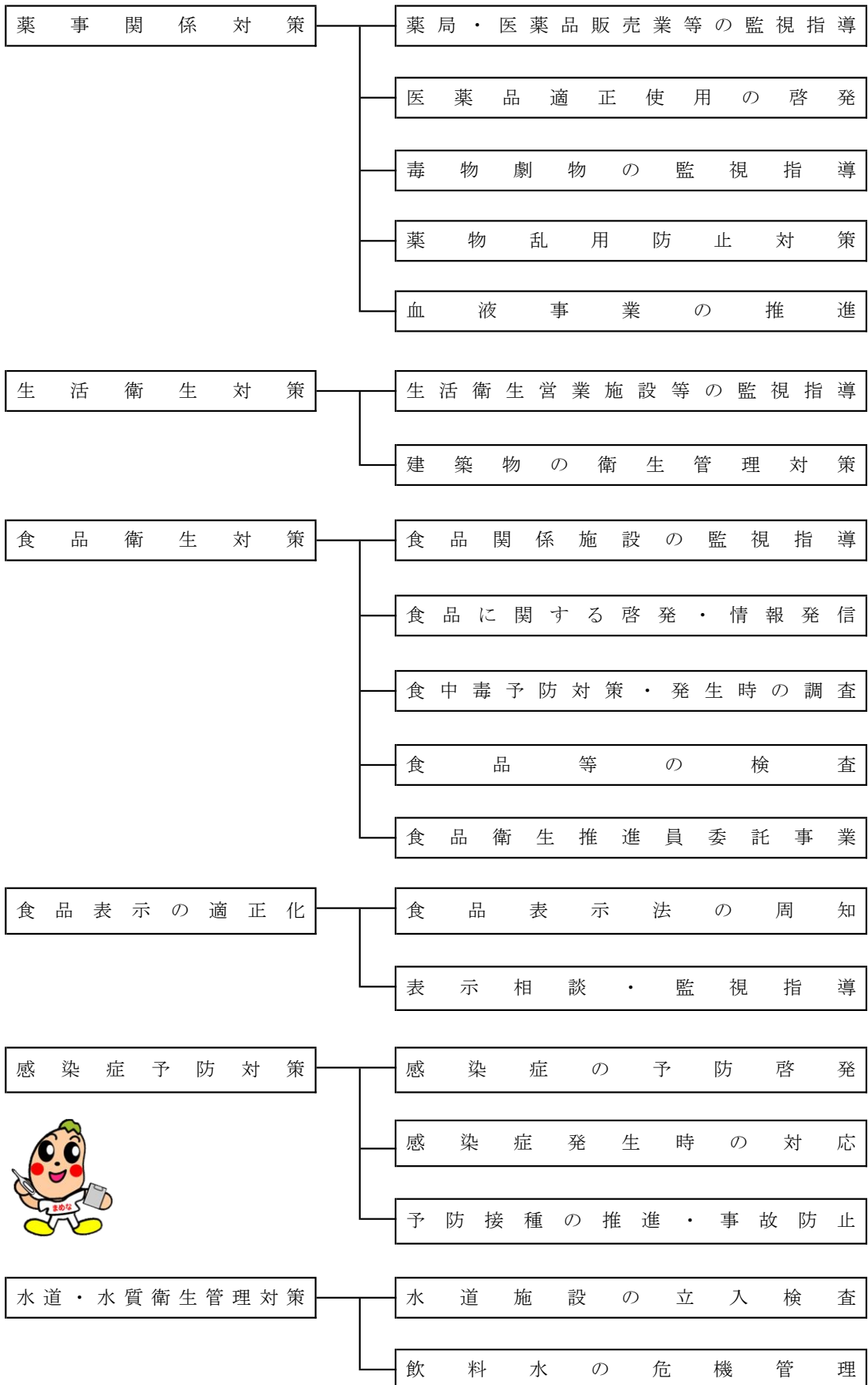
10 ハンセン病対策

(1) 普及・啓発事業

パンフレットの配置、啓発DVDの貸し出し

ハンセン病に関する正しい知識の普及啓発を図るため、保健所のホールにパンフレット等を配置したり、地域の団体の研修のため啓発DVDの貸し出しを行った。

衛生指導課業務



衛生指導課

1 医薬品等安全対策の推進

(1) 薬局・医薬品販売業等の監視指導

薬局及び医薬品販売業者に対して立入検査を実施し、医薬品医療機器等法に基づき医薬品の適正な管理・販売について指導した。また、薬局においては薬剤師員数等の法令遵守を指導した。

○薬事関係施設数及び監視数

	薬局	医薬品販売業		医薬品等製造業			医療機器修理業	高度管理医療機器等販売業・貸与業
		卸売	店舗	製造業	製造販売	薬局製造販売		
施設数	81	12	48	11	1	2	11	95
監視数	46	8	4	0	0	0	2	21
違反件数	5	0	0	0	0	0	0	0

(2) 医薬品の適正使用の啓発

高齢化に伴い種々の疾患により複数の医療機関を受診する患者が多い。医薬品の併用による副作用等の事故を未然に防止するため、平成8年度から高齢者医薬品安全使用講座を開催しており、一般社団法人 島根県薬剤師会出雲支部と連携の上、継続して啓発を実施した。

開催回数 7回 150名

	開催日	受講対象者（会場）	受講者数（人）
1	平成29年6月8日	地域住民（多井ふれあいセンター）	20
2	平成29年9月26日	地域住民（大社健康福祉センター）	25
3	平成29年10月24日	地域住民（荒木地区上北南一区総合センター）	10
4	平成29年10月24日	地域住民（今市コミュニティセンター）	30
5	平成29年10月30日	地域住民（原町会館）	30
6	平成29年11月17日	地域住民（西三部公民館）	15
7	平成29年11月20日	地域住民（高木会館）	20

(3) 毒物劇物の監視指導

農薬危害防止運動期間（6～8月）を中心に、毒物劇物営業者に対し、保管管理の適正化について監視指導した。一般用品目販売業で3件の違反（鍵設置の不備（1件）、表示の不備（2件））がみられた。

○毒物劇物関係施設数及び監視数

	製造業	販売業		
		一般	農業用品目	特定品目
施設数	3	81	57	1
監視数	1	20	5	0
違反件数	0	3	0	0

(4) 薬物乱用防止対策

ア 普及啓発

「ダメ。ゼッタイ。」街頭キャンペーン

カブスカウト、ボーイスカウト、ライオンズクラブ、島根県薬剤師会出雲支部等82名が参加し、薬物乱用防止街頭キャンペーンを実施した。平成29年度はゆめタウン出雲にラピタの3店舗を加えた4か所の会場で訪れた住民の方々に薬物乱用防止のチラシやパンフレット800部を配布した。

実施日 平成29年6月25日(日) ゆめタウン出雲 ラピタみなみ店
ラピタはまやま店 ラピタ本店

イ 麻薬・覚せい剤等取扱施設等に対する監視指導

麻薬、向精神薬及び覚せい剤原料取扱施設に対して監視を実施し、法律の遵守を指導した。また、麻薬の誤廃棄等の事案について調査及び再発防止の指導を行った。

○麻薬業務所(者)数及び監視数

	麻薬卸売業者	麻薬小売業者	麻薬診療施設				麻薬研究者(人)	合計
			病院	一般診療所	歯科診療所	動物診療施設		
施設数	4	78	10	63	0	6	9	170
監視数	6	24	22	2	0	0	1	55
事故件数	0	0	14	0	0	0	0	14
違反件数	0	1	1	0	0	0	0	2

○向精神薬取扱施設数及び監視数

	免許みなし卸売業者	免許みなし薬局	病院等				試験研究施設	合計
			病院	一般診療所	歯科診療所	動物診療施設		
施設数	12	81	11	167	63	30	2	367
監視数	0	10	11	2	0	0	0	23
事故件数	0	0	0	0	0	0	0	0
違反件数	0	0	0	0	0	0	0	0

○覚せい剤・覚せい剤原料取扱施設数及び監視数

	覚せい剤		覚せい剤原料					合計
	大臣指定 施用機関	研究者	取扱者	研究者	薬局	病院・ 診療所	動物診療 施設	
施設数	1	1	4	2	81	241	30	361
監視数	0	0	9	0	11	16	0	36
事故件数	0	0	0	0	0	2	0	2
違反件数	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 自生けしの抜き取り

自生けしの巡回パトロールを実施し、出雲市内 10 ヲ所、1, 868本の自生けしを抜き取り焼却処分した。

(5) 血液事業の推進

少子高齢化により、血液製剤の使用量の増加が見込まれる一方で献血者数が年々減少している。市、赤十字血液センターと連携し、地域住民、職域団体等に対して献血の推進活動と献血思想の普及を図った。

○管内献血状況

400ml 献血	目標本数	実績	目標達成率
出雲市	3,650	3,507	96.1%

2 生活衛生の推進

(1) 生活衛生関係営業施設への監視指導

ア 生活衛生関係営業施設に対して「生活衛生関係営業指導マニュアル」および「生活衛生関係営業立入監視票」を活用し、構造設備基準や衛生措置等が遵守されているか確認した。

○管内生活衛生関係営業施設数及び監視数

区分		施設数	監視数	
理容	理容所	239	5	
美容	美容所	380	45	
クリーニング	クリーニング所	100	17	
	(うち取次所)	72	3	
	無店舗取次店	2	0	
公衆浴場	公 営	一般公衆浴場	0	0
		その他	10	1
	私 営	一般公衆浴場	0	0
		個室付浴場	0	0
		ヘルスセンター	0	0
		サウナ風呂	0	0
		その他	15	4
旅館等	ホテル	18	4	
	旅館	61	9	
	簡易宿所	25	2	
	下宿	0	0	
興行場	スポーツ	3	0	
	映画館	1	0	
	その他	3	0	

イ 管内の全理美容所へアンケート様式の現況調査票を作成、配布（送付）回収して、現況確認等を行い、衛生措置の再確認や必要な届出および申請についての指導、立入検査を行なった。

ウ 違法な旅館営業者に対して、消防署（予防課）と連携し、立入指導を行った。

エ 衛生講習会等を実施し、生活衛生の向上及び確保を図った。

講習会等の名称	実施年月日	主催者	受講者
美容所の衛生管理について	H29.5.8	島根県美容業生活衛生同業組合出雲支部	120
理容師法令上の義務と衛生管理について	H29.9.25	島根県理容業生活衛生同業組合出雲支部	80

オ レジオネラ症対策

温泉を利用する大規模な旅館において、レジオネラ対策の確認を実施した。また、昨年度の立入においてレジオネラ対策に不備のあった施設に関し、維持管理の基準の確認した。

8月に管内の公衆浴場の浴槽からレジオネラ菌が検出された施設があり、原因等の調査のため立入を行った。またレジオネラ対策マニュアル等を配布し再発防止の指導を行った。

(2) 建築物の衛生管理対策

特定建築物に対し立入検査を行い、建築物環境衛生管理基準の遵守等を図った。
また、ビル衛生管理登録事業者に対し、適正な業務管理の指導を行った。

○特定建築物届出件数及びビル衛生管理登録事業者数と監視指導数

	届出・登録件数	監視数
特定建築物	5	0
ビル衛生管理登録事業者	14	14

3 食品衛生対策の推進

(1) 食品関係施設の監視指導

衛生指導課と食品衛生機動監視課で業務分担し、計画的に食品関係施設の立入監視を行い衛生管理の向上に努めた。

春と秋の営業許可更新にあわせて対象施設の監視を行い、施設基準の適合状況を確認するとともに、必要に応じて衛生管理について指導を行った。

春（5月）更新：226施設、秋（11月）更新：259施設

○営業許可施設数と監視指導数

	施設数	監視指導件数	行政処分結果			
			営業停止命令	営業禁止命令	施設改善命令	その他
飲食店営業	1,521	436	6			
菓子製造業	250	69				
乳処理業	1	1				
乳製品製造業	2	1				
魚介類販売業	265	101				
魚介類せり売り業	2	0				
魚肉ねり製品製造業	20	10				
食品の冷凍又は冷蔵業	8	7				
缶詰又はびん詰食品製造業	1	0				
喫茶店営業	270	58				
あん類製造業	3	3				
アイスクリーム類製造業	34	14				
乳類販売業	310	108				
食肉処理業	18	14				
食肉販売業	222	98				

食肉製品製造業	5	2				
食用油脂製造業	5	1				
みそ製造業	12	2				
しょう油製造業	11	5				
ソース類製造業	7	2				
酒類製造業	6	0				
豆腐製造業	9	8				
めん類製造業	29	10				
そうざい製造業	71	31				
添加物製造業	1	1				
清涼飲料水製造業	4	0				
氷雪製造業	1	0				
氷雪販売業	1	2				
許可施設 計	3,089	984	6			

○営業許可を要しない施設数と監視指導数

	施設数	監視指導 件数	行政処分結果			
			営業停止 命令	営業禁止 命令	施設改善 命令	その他
給 学校	7	8				
食 病院・診療所	14	12				
施 事業所	6	3				
設 その他	134	23				
乳さく取業	48	0				
食品製造業	221	9				
野菜・果物販売業	104	90				
そうざい販売業	257	82				
菓子販売業	328	101				
他の食品販売業	559	100				
添加物の製造業	3	0				
添加物販売業	85	23				
器具・容器包装・玩具の 製造または販売業	198	46				
許可不要施設 計	1,964	497				

(2) 食品に関する啓発・情報発信

食品の安全、安心について理解を深め、より一層の衛生管理意識向上のため、食品等事業者および一般消費者に対して衛生講習会、意見交換会、ホームページ及びチラシ配布等により知識の普及啓発を行った。

ア 食品等事業者への啓発

- ・食中毒の発生防止を図るため、食品営業者を対象とした地区別講習会、食品衛生責任者講習会並びに社会福祉施設等の給食従事者を対象とした衛生講習会を実施した。

営業者向け講習会の実施 56回(2,260名)

- ・営業者向けに、「ノロウイルス食中毒及び感染症予防について」の通知及びチラシ送付1,452施設

イ 一般消費者への啓発

- ・消費者向け講習会の実施 4回(105名)
- ・食品衛生月間行事の一環として「こども手洗い教室」を実施
手洗い教室は、幼児でも理解できるよう「食品衛生協会著作のタベルマン劇」を導入し、手洗いの大切さを楽しく学んでもらった。さらに「手洗いチェッカー」による洗い残しの確認や手洗いポーズ等、正しい手洗いを指導した。

(3) 食中毒予防対策

- ア ノロウイルス対策として飲食店や集団給食施設に対し注意喚起のためのチラシ送付を実施した。また、近年、鶏肉の生食を原因としたカンピロバクター食中毒が増加していることを受け、消費者に対してチラシやホームページを活用して注意喚起を行った。
- イ クドア・セプトテンクタータやアニサキスなどの寄生虫による食中毒が増加していることから、各種講習会を通じて、事業者、消費者に対して予防対策等の啓発を行った。
- ウ 生食用食肉、牛レバー等の取扱いについて、関係事業者へ法令の遵守するよう指導した。
- エ 学校給食において異物混入が発生した際に、原因究明や再発防止に必要な指導助言を行った。

○平成29年度 管内食中毒発生状況 6件 患者60名

	発生年月日	患者数	原因物質	原因食品	原因施設
1	H29.8.20	13	腸炎ビブリオ	飲食店の食事	飲食店
2	H29.9.14	5	クドア・セプトテンクタータ	ヒラメの刺身	飲食店
3	H29.10.1	13	カンピロバクター	飲食店の食事	飲食店
4	H30.1.4	13	ノロウイルス	飲食店の食事	飲食店
5	H30.1.31	9	ノロウイルス	飲食店の食事	飲食店
6	H30.2.25	7	ノロウイルス	飲食店の食事	飲食店

(4) 食品の検査

- 管内の製造業者の加工品等について食品の成分規格、添加物の使用基準、表示に関し、収去検査や現場での表示チェック等を実施した。成分規格違反食品については製造施設へ立入り、原因調査および再発防止の指導を行った。
- また、管内加工食品、管内生産農産物及び輸入農産物について残留有害物質検査を行い農薬、動物用医薬品等の残留実態の把握に努めた。

○収去検査検体数 90 件

- ・理化学検査：59件（内訳；添加物：15件、残留農薬検査等：38件、その他：6件）
- ・細菌検査：31件

(5) 食品衛生推進員活動

管内では県が委嘱した122名の食品衛生推進員が、食品事業者に対し将来的なHACCP導入義務化に向けてHACCPの認知度、関心を調査した。また食品表示法への対応状況についての点検も実施し、未実施の施設に対しては導入を促した。

○食品衛生推進員立入施設

- ・立入調査施設：267施設

食品衛生推進員に対して研修会を開催（2回）し、グループ討議の実施等、推進員の資質向上に努めた。

4 食品表示の適正化

食品衛生法、JAS法、健康増進法の食品表示に係る規定を統合した食品表示法が、平成27年4月1日から施行されたことに伴い、食品等事業者に対し、講習会により食品表示法についての周知を図った。

また、食品事業者からの表示相談及び立入監視による不適正表示の指導により、適正表示の推進を図った。

- ・講習会実施件数：29件
- ・表示指導件数：90件

5 感染症予防対策の推進

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「島根県感染症予防計画」に基づき、感染症発生時の体制を整備するとともに、感染症の発生・まん延防止を図るための啓発に努めた。

(1) 感染症の予防啓発

ア 麻しん風しん対策

市を通じて麻しん風しん予防接種実施状況調査を行い、接種率等状況把握に努めた。

イ 講習会

社会福祉施設を中心に、介護士等を対象として講習会を実施し、感染症の予防に関する知識の普及啓発に努めた。（開催回数6回 176名）

ウ 住民啓発

ダニ媒介感染症に関するチラシを作成し、出雲市内のコミュニティセンター42か所に配布し、注意喚起を行った。また、ホームページでも啓発を行った。

インフルエンザ流行注意報、流行警報の発表をホームページに掲載し、注意喚起を行った。

エ 感染症発生動向調査

指定届出医療機関からの定点報告（週報・月報）及び医師からの発生届（全数報告）により発生動向調査を実施するとともに、平成26年より導入された「感染症デイリーサーベイランスシステム（まめネット）」並びに「学校等欠席者・感染症情報収集システム」により

感染症流行状況を把握し、欠席者システムのお知らせ欄にコメントを掲載して注意喚起を行った。(コメント掲載 4回)

(2) 感染症発生時の対応

- ア 学校等欠席者・感染症情報収集システムのアラートメール等を受け、必要に応じて感染症集団発生施設への疫学調査及び感染拡大防止の衛生指導を実施した。(季節性インフルエンザ、感染性胃腸炎等7件対応)
- イ 感染症発生時に、疫学調査及びまん延防止の指導を実施した。(腸管出血性大腸菌感染症 O157、日本紅斑熱、つつが虫病、E型肝炎、デング熱、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、百日咳等 19例)
- ウ 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」における全数把握疾患の疑い例に対して、疫学調査や行政検査を実施した。(13件)

(3) 海外からの感染症侵入への準備

ア 蚊媒介感染症対策

平成29年12月にデング熱の届出(輸入例)があり、疫学調査を実施した。黄熱の予防接種実施医療機関について、渡航者からの問い合わせに対応した。

イ 新型インフルエンザ対策

出雲圏域の発生期における帰国者・接触者外来を、島根県立中央病院、出雲市立総合医療センター、出雲徳洲会病院の3病院とし、体制を整備している。また、県内感染期における重症患者の入院病床について出雲圏域で51床確保している。

ウ 鳥インフルエンザ対策

(ア) 管内養鶏場における鳥インフルエンザ発生を想定した所内対応訓練を9月に実施し、防疫作業従事者に対する健康調査の演習を行った。

(イ) 平成30年3月16日付けで「島根県内における鳥インフルエンザ発生時の保健所対応マニュアル」が改正通知された。

(4) 感染症発生状況

○出雲保健所管内の全数把握 感染症発生状況(結核を除く)

類型	疾病名	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
		患者	無症状 病原体 保有者	患者	無症状 病原体 保有者	患者	無症状 病原体 保有者	患者	無症状 病原体 保有者	患者	無症状 病原体 保有者
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3		1	2	5		3	2	3	
四類	A型肝炎	1									
	E型肝炎					1				1	
	つつが虫病			1		2				2	
	デング熱					1				1	

	日本紅斑熱	5	3	6	11	4
	重症熱性血小板減少症候群				1	
	日本脳炎				1	
	レジオネラ症	4	3	2	2	
	レプトスピラ症		1	2	1	
五類	アメーバ赤痢		2	2	1	1
	ウイルス性肝炎(E型・A型除く)	1	1	1		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		1	6	8	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	5	11	17	15
	クワイツェルト・ヤコブ病	1	2	2		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2	2		1
	後天性免疫不全症候群		4	1		
	梅毒		1	2		2
	破傷風	2	1	1	1	1
	風しん	8				
	先天性風しん症候群	1				
	百日咳					1

(6) 予防接種対策

ア 県民からの海外渡航前の予防接種に関する問い合わせ等に対し、的確な情報提供を行なった。

イ 医療機関からの予防接種に関する問い合わせに対し、情報提供を行なった。

ウ 4月に県内で麻しんの感染事例が2例確認され、管内でも接触者の疫学調査を実施した。

6 水道・水質の衛生管理

(1) 水道施設の立入検査

「水道施設立入検査要領」に基づき立入監視を実施し、適正な管理について指導した。

○管内水道施設 (H29.3.31 現在) ※うち1は国の所管

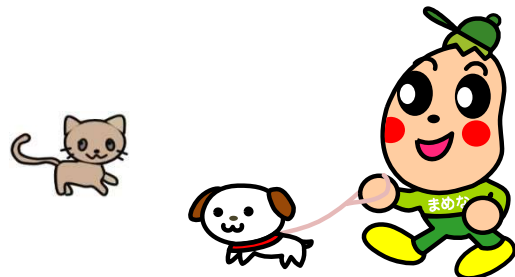
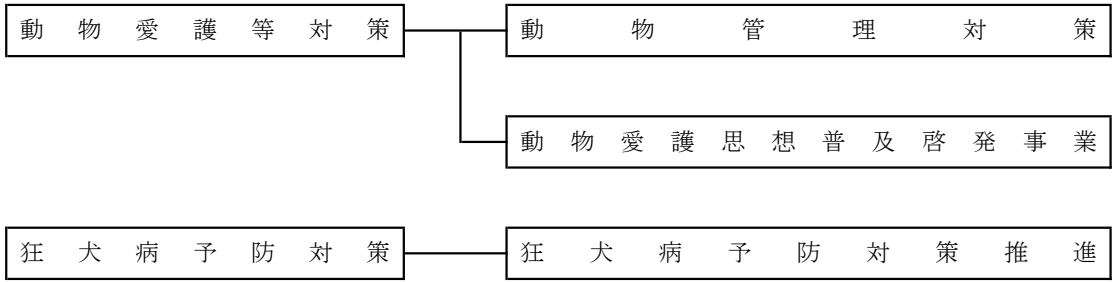
		施設数	立入数
出雲市	上水道	2 [*]	1
	簡易水道	13	13

(2) 飲料水の危機管理

水質異常や寒波等の災害による断水等はなかった。

災害発生時に、被害状況等について迅速な報告等ができるよう、関係機関との連絡体制を整備し確認を行った。

動物管理課業務



動物管理課

1 動物保護管理対策

(1) 動物取扱施設への立入監視

ほぼすべての動物取扱施設へ立入監視を実施し、うち17件について記録台帳や標識の掲示等について指導を行った。

第一種動物取扱業

	販売	保管	訓練	展示	貸出し	合計
登録件数	27	31	2	4	2	66
監視件数	29	32	3	4	2	70

第二種動物取扱業

	譲渡	保管	訓練	展示	貸出し	合計
届出件数	3	2	0	6	1	12
監視件数	3	2	0	6	1	12

(2) 特定動物の適正飼養対策

特定動物飼養・保管施設への立入監視を実施した。

動物種	ワニガメ	ハクトウワシ	エラブウミヘビ	合計
飼養頭数	1	2	1	4
監視件数	1	2	1	4

(3) 動物管理対策

ア 動物の収容・措置

平成29年度の犬・猫の殺処分数はそれぞれ2頭、4匹であり、平成28年度と比べて犬は3頭、猫は10匹減少した。これは、引取りを求める飼い主への説諭を徹底したことや、離乳前子猫等の一般譲渡不適動物のボランティア団体への譲渡が大きな理由として考えられた。

収容・措置状況

	収容数				合計	措置数			
	捕獲	引取り	他保健所からの受入	負傷動物		継続飼育中	返還	譲渡	殺処分
犬	30	46	7	1	84	3	49	33	2
猫	—	102	1	12	115	1	2	96	4
合計	30	148	8	13	199	4	51	129	6

引取り相談状況

	飼い主からの引取り相談	
	説諭件数	引取り件数
犬	13	0
猫	13	3
合計	26	3

イ 動物管理センター等の管理

民間委託している動物の輸送、処分及び閉庁日における動物舎の清掃、給餌及び給水に対して、業務が適正に行われるよう指導監視を行った。

2 動物愛護思想の普及（動物愛護棟業務）

(1) 動物愛護フェスティバル等の開催

平成29年度は人と動物の絆を再確認し、飼い主の適正飼養についての知識と理解を深めることを目的とし、動物愛護週間中の9月23日に「動物愛護フェスティバル」を開催した。ワンワン運動会、手作り迷子札の作製、ペットの健康相談、猫モデルルーム、動物愛護啓発展、保育園児のお絵かき展示、及び映画上映を企画し、約200人の来場があった。各企画や準備に関しては、島根県動物愛護棟ボランティア、県内動物愛護団体、島根県獣医師会等関係機関の協力を得た。

また、小学生等を対象とした動物愛護教室について、平成29年度は管内5か所から開催希望があり、動物愛護団体の協力のもと、命の大切さや動物との接し方についての講義・実演を行った。更に、7月25日出雲市塩冶町の妙伝寺において、出雲仏教会主催の青少年修養の集いに講師として参加し、小学生及びその保護者薬100人に対して同様の講義を行った。

開催月日	場 所	対 象
10月18日	出雲市立大津小学校	2年生 93名
11月1日	出雲市立遥堪小学校	1、2年生 46名
12月6日	出雲市教育支援センター 光人塾	小学2年生～中学3年生 12名
12月15日	出雲市立神戸川小学校	3年生 90名
2月19日	出雲市教育支援センター コスモス教室	小学1年生～中学2年生 5名

(2) 保健所収容動物の適正譲渡の推進

引取り動物及び保護期間満了後の保護収容動物のうち、譲渡可能な動物についてはホームページでの写真公開や新聞広告への掲載、飼育希望者の事前登録、動物愛護団体との協働等により、積極的に譲渡を行い、収容動物の生存の機会を増やすように努めた。

	一般譲渡数	団体譲渡数	合計
犬	29	4	33
猫	7	89	96
合 計	36	93	129

(3) 飼養期間の延長に伴う収容動物の健康管理、適正飼養の実施

譲渡動物の健康管理として混合ワクチン接種、駆虫薬投与、血液検査（犬フィラリア症、猫エイズ、猫白血病）等を行った。また、飼養管理のサポートを行う動物愛護棟ボランティアの知識向上を目的としたボランティア研修会を1回実施した。

(4) 犬、猫の適正飼養及び繁殖制限の啓発

毎月2回開催している譲渡前適正講習会は、平成29年度は20回開催し、47組の受講があった。

(5) TNR（地域猫活動）事業の推進

飼い主のいない猫が増えた地域において環境侵害の軽減を図るため、県では平成24年度から地域猫事業をスタートさせた。平成29年度は、雲南保健所管内の1地域と松江保健所管内の4地域において新たに開始した。

	保護数	手術数	リリース数
平成29年度	47	46	48
平成24年度からの累計	211	200	205

(6) 所有者明示の普及・推進

当所に収容した犬や猫がすみやかに飼い主の元へ帰れるよう、所有者明示（鑑札、注射済票、迷子札、マイクロチップ等の装着）について、出雲市や動物愛護団体等の関係機関と連携し普及・推進を図った。平成29年度狂犬病予防注射済票装着促進事業へ参加し、集合注射会場2カ所（出雲市役所第2駐車場、荒木コミュニティセンター）にて鑑札、注射済票及び迷子札の装着について啓発を行った。

(7) 家庭飼育動物の譲渡情報提供サービス

犬又は猫を飼いたい人と譲りたい人を電話受付することにより、双方の仲介役を果たし、家庭飼育動物に生存の機会を提供する。平成29年度は猫2件の譲渡希望があった。

(8) 犬及び猫の苦情に対する迅速な対応

放れた犬の苦情に対し迅速に対応し、危害の発生防止に努めた。また、飼い犬の放し飼いや猫の無責任な餌やり等の苦情に対し、犬及び猫の正しい飼養管理について指導・啓発を行った。

犬に関する苦情件数

	野犬	放し飼い	鳴き声	臭気	咬傷	迷い犬保護依頼	失踪照会	その他
犬	4	3	5	0	7	44	53	5

猫に関する苦情件数

	糞尿	鳴き声	餌やり	失踪照会	その他
猫	12	0	8	60	16

苦情合計
217

(9) 所有者不明子猫の引取り実態調査

所有者不明子猫の引取り減少につなげるため、子猫が保護された地域4カ所及び平成28年度重点対策地域2カ所について現地調査を実施した。猫が増える原因となっている不適正飼育者や無責任な餌やり者が判明したものについては適正飼育に関する指導を行った。

3 狂犬病予防対策

(1) 飼い犬の登録と狂犬病予防注射の推進

市が実施する飼い犬の登録と狂犬病予防注射が円滑に進むよう、市等関係機関と連携し、イベント等において啓発を行った。管内の狂犬病予防注射の接種率は68.6%であった。

<出雲市>

登録頭数（期末現在）	狂犬病予防注射頭数	接種率
8,906頭	6,109頭	68.6%

環境保全課業務

大気環境の保全対策	<ul style="list-style-type: none"> 大気環境の常時監視 固定発生源対策 アスベスト対策 オゾン層保護対策 航空機騒音に係る環境基準監視
水環境の保全対策	<ul style="list-style-type: none"> 水質環境基準の監視 工場・事業場排水の監視 ゴルフ場農薬等流出モニタリング調査 湖沼等水質保全対策 温泉（泉源）の保護と適正利用
土壌環境の保全対策	土壌汚染防止対策
環境保全意識の普及・啓発	普及啓発事業への参加
廃棄物の減量化・有効利用対策	<ul style="list-style-type: none"> しまねエコショップ認定事業 各種リサイクル法の啓発指導
廃棄物の適正処理対策	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理施設の監視指導 産業廃棄物処理施設の監視指導 廃棄物の不法投棄対策 産業廃棄物の排出事業者・処理業者の監視指導 P C B 廃棄物の適正処理指導 使用済自動車の処理に関する監視指導
ダイオキシン類対策	基準適用施設等の監視
浄化槽の適正維持管理対策	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽管理者等の指導 浄化槽適正管理の啓発



環境保全課

1 大気環境の保全対策

(1) 大気環境の常時監視

平成10年に設置した「出雲保健所測定局」で、窒素酸化物・浮遊粒子状物質・光化学オキシダント等の常時監視を行った。また、平成25年度から新たに微小粒子状物質（PM2.5）の監視を行っている。

平成27年度においては、環境基準が設定されている項目（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント）のうち、光化学オキシダントは環境基準非達成であったが、他の項目は環境基準を達成していた。

(2) 固定発生源対策

大気汚染防止法に基づき、施設の適正管理について指導を行った。

◇ばい煙発生施設届出状況 611施設

ボイラー	溶解炉	焼成炉	乾燥炉	廃棄物焼却炉	ディーゼル機関	ガスタービン	その他
165	29	328	17	5	40	11	16

(3) アスベスト対策

大気汚染防止法に基づく特定粉じん排出等作業届出のあった9作業場について立入検査を行い、アスベストの飛散防止について監視指導を行った。

(4) オゾン層保護対策

第一種フロン類充填回収業者22業者について、フロン回収破壊法に基づく登録事務とフロン類の適正処理の監視指導を行った。

(5) 航空機騒音に係る環境基準監視

出雲空港周辺2か所(定点、補点)で年4回(1週間、24時間連続測定)航空機騒音の測定を実施した。平成28年度は、いずれも環境基準を達成していた。

2 水環境の保全対策

(1) 水質環境基準の監視

神戸川2地点、神西湖2地点、おわし海水浴場1地点で環境基準の達成状況を調査した。平成28年度は、神戸川及びおわし海水浴場水域では環境基準を達成していたが、神西湖は環境基準非達成であった。

地下水については、美野町において環境基準の監視調査を行い、全項目で環境基準を達成していた。

6水浴場(主要海水浴場2か所、その他海水浴場4か所)で遊泳適否調査を行い、6か所いずれも遊泳適であった。

(2) 工場・事業場排水の監視

水質汚濁防止法に基づき、特定事業場 7 事業場について立入検査を実施し、排水基準の遵守と施設の適正管理について指導した。

◇特定施設届出状況 6 2 3 事業場
うち水質基準規制対象事業場 7 8 事業場

し尿処理施設	下水道終末処理場	旅館業	その他の施設
47	4	7	21

(3) ゴルフ場農薬等流出モニタリング調査

出雲ゴルフ倶楽部及びいづも大社カントリークラブにおいて、農薬等の流出モニタリング調査を行った。いずれの項目も農薬指導指針値以下であった。

(4) 湖沼等水質保全対策

水質汚濁防止連絡協議会（斐伊川水系、島根県）においては、水質汚濁事故対策の協議・情報交換を行ったり、水質汚濁現場において水質調査や対応に関する助言等を行った。

また、神西湖に流入する4河川の水質実態把握調査（6回/年）を行った。いずれの項目も例年と概ね同程度であった。

(5) 温泉（泉源）の保護と適正利用

各温泉源について、助言・指導を行った。

◇温泉利用許可申請 5 件
（新規 2 件、市→民間譲渡 2 件、民間→民間譲渡 1 件）

3 土壤環境の保全対策

土壤汚染対策法第4条に基づく土地形質変更に関する届出事務のほか、土壤汚染に関する情報提供（規制区域の有無、水質汚濁防止法に係る有害物質使用特定施設の設置の有無）を行った。

◇土壤汚染対策法第4条に基づく届出件数 16 件

4 環境保全意識の普及・啓発

県民向け3R普及啓発事業として、管内のイベントに出展される島根県ブースでの活動に参加し、3Rについての普及啓発を行った。

◇参加イベント いづも産業未来博 2017

5 廃棄物の減量化・有効利用対策

しまねエコショップ認定事務のほか、建設リサイクル法、家電リサイクル法、食品リサイクル法等の各種リサイクル法の啓発指導を行った。

◇しまねエコショップの認定店舗数 27

6 廃棄物の適正処理対策

(1) 一般廃棄物処理施設の監視指導

廃棄物処理法に基づき、一般廃棄物処理施設 1 施設の立入検査等を実施し適正な維持管理を指導した。

◇一般廃棄物処理施設等設置状況 27 施設

最終処分場	焼却施設	破碎施設	し尿処理施設	その他の施設
5	3	12	3	4

(2) 産業廃棄物処理施設の指導監視

廃棄物処理法に基づき、産業廃棄物処理施設 12 施設の立入検査等を実施し適正な維持管理を指導した。

◇産業廃棄物処理施設設置状況

中間処理施設 (37 施設)	廃油油水分離施設(1)、 廃プラ破碎施設(3)、 廃プラ焼却施設(1) 木くず破碎施設(9)、 がれき類破碎施設(21)、 産業廃棄物焼却施設(2)
最終処分場 (4 施設)	安定型(2)、 管理型(2)

(3) 廃棄物の不法投棄対策

不法投棄防止重点監視地域に指定した「県道斐川上島線及び県道木次直江停車場線(いずれも出雲市斐川町地区)」の地域住民(2名)に監視モニターを委嘱し、モニターによる重点監視地域の定期パトロール等を実施した。また、当該地域において、新たに監視カメラを設置するとともに、監視モニター及び関係機関(出雲市、島根県産業廃棄物協会出雲支部、出雲警察署、出雲保健所)により合同パトロール(2回)・不法投棄物の撤去を行った。

◇啓発用看板および監視カメラの設置状況(平成29年度末時点)

啓発用看板 12 枚、 監視カメラ 9 台

(4) 産業廃棄物の排出事業者・処理業者等の監視指導

廃棄物処理法に基づき、産業廃棄物排出事業者 46 業者に立入検査等を実施した。

積替え保管の許可を有する産業廃棄物収集運搬業者 10 業者及び処分業者 5 業者に対し立入検査等を実施し、産業廃棄物の適正処理について指導した。

◇産業廃棄物処理業者数

	収集運搬業	中間処理業	最終処分業
業者数	234	30	3

(5) PCB 廃棄物の適正処理指導

PCB 廃棄物保管事業者に対し、保管状況届出時に適正な保管・処理を指導した。また、高濃度 PCB 廃棄物については期限内処理(※)を完了させるため、該当事業者へ強く指導するとともに、PCB 機器の掘り起こし調査を実施した。

※高濃度 PCB 処理完了期限(JESCO 北九州事業所)

トランス・コンデンサ類 : H30 年 3 月末 安定器 : H33 年 3 月末

◇PCB 保管状況届出の届出数（廃棄処分届出含む）
50事業場（内、廃棄処分届提出事業場数 14）

◇PCB 機器掘り起こし調査確認済事業所数
トランス・コンデンサ 840事業所(841事業所中)
安定器 644事業所(841事業所中)

(6) 使用済自動車の処理に関する監視指導

使用済自動車の引取業およびフロン回収業の登録事務のほか、解体業者や破砕業者に対して使用済み自動車の適正処理に関する指導を行った。

◇自動車リサイクル法関係業者数（平成29年度末）
引取業登録業 122 フロン回収業 12 解体業 3 破砕業 1

7 ダイオキシン類対策

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、特定施設に係る監視指導を行った。

◇特定施設届出状況
廃棄物焼却炉 11施設（内、水質基準対象施設 4）

8 浄化槽の適正維持管理対策

浄化槽新規設置者を対象とした講習会（島根県浄化槽協会、島根県浄化槽普及管理センター主催）へ講師として参加し、浄化槽の適正管理について講義を行った。

法定検査で適正と判定されなかった浄化槽（17施設）の管理者に対しては、立入検査を実施し適正管理について指導を行った。

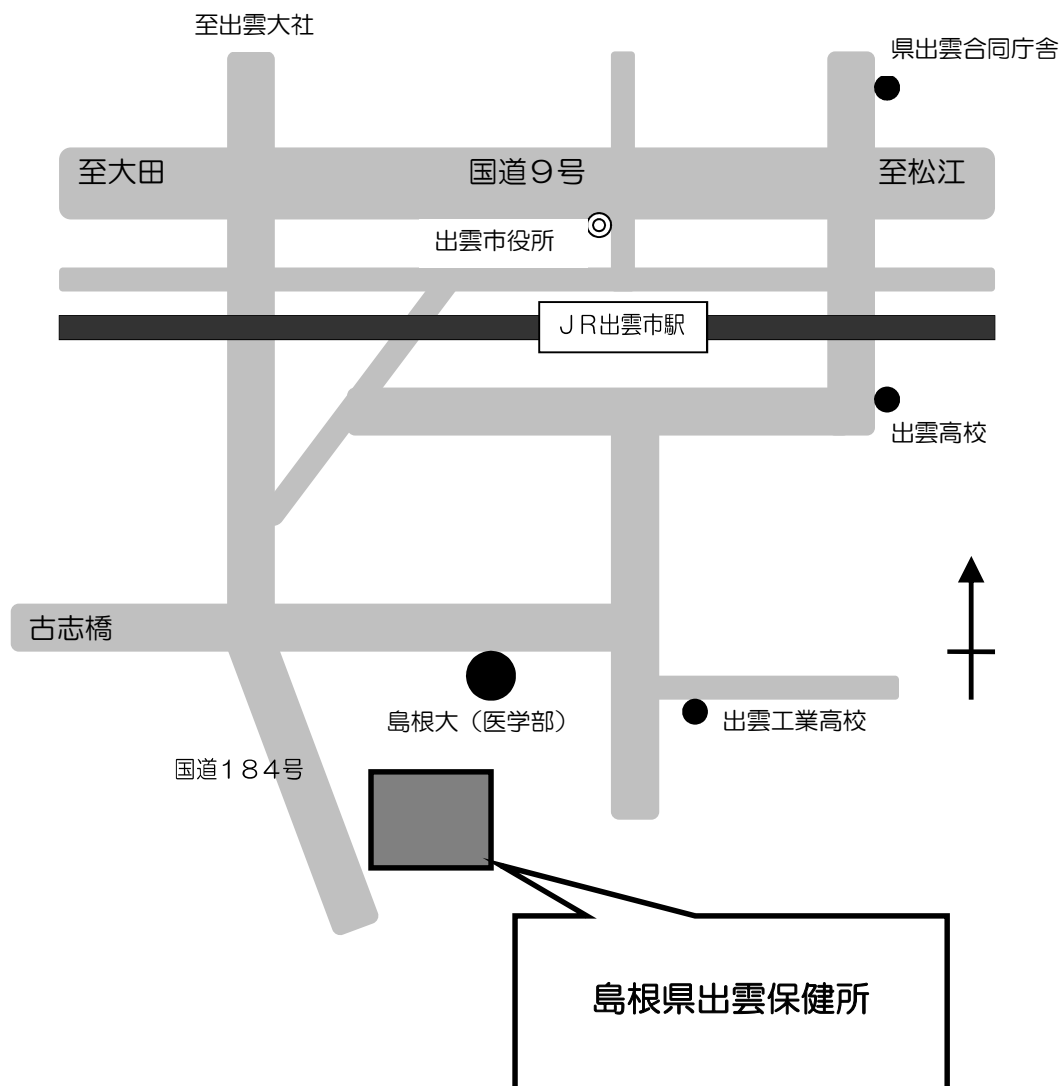
◇浄化槽設置基数（平成30年3月31日現在）
16,557基（うち平成29年度の新規設置届出数 332基）
◇10人槽以下みなし浄化槽の浄化槽法第11条検査の受検率（平成28年度実勢）
61.4% （*島根県浄化槽普及管理センター集計値より算出）

9 公害苦情等の対応

苦情等の内容は次のとおり

大気関係	3件	水質汚濁	0件	悪臭関係	3件		
騒音振動関係	0件	廃棄物	9件	浄化槽	0件	合計	15件

このページは空白です



すこやかライフ

平成30年度事業概要書

平成30年5月発行 編集・発行 島根県出雲保健所

〒693-0021 出雲市塩冶町223-1

TEL (0853) 21-1190(代)

FAX (0853) 21-7428

Mailto: izumo-hc@pref.shimane.lg.jp

ホームページ URL

http://www.pref.shimane.lg.jp/izumo_hoken/